

第3編 県民会議等の取組

第1章 概要

1 取組の基本的な考え方

伊勢志摩サミット三重県民会議では、「サミットを安全・安心に開催すること」、「サミットに全県的に取り組むこと」、「サミット開催を一過性のものとせず、次世代にサミットの資産を残すこと」の3つをサミットの成功要因とし、伊勢志摩・三重県の知名度向上や国際観光地としてのレベルアップのみならず、地域の総合力の向上につなげることにした。そのため、三重県民会議では、伊勢志摩サミットの成功に向けて、「開催支援」、「おもてなし」、「明日へつなぐ」、「三重の発信」の4つの柱に基づき、様々な取組を展開した。

一つ目の柱の「開催支援」の取組については、宿泊・輸送サービスの円滑な提供やインフォメーション機能の整備、弁当供給体制の整備、警備関係への協力や住民への情報提供など、受入準備に向けて、開催地として最大限の支援・協力を行った。

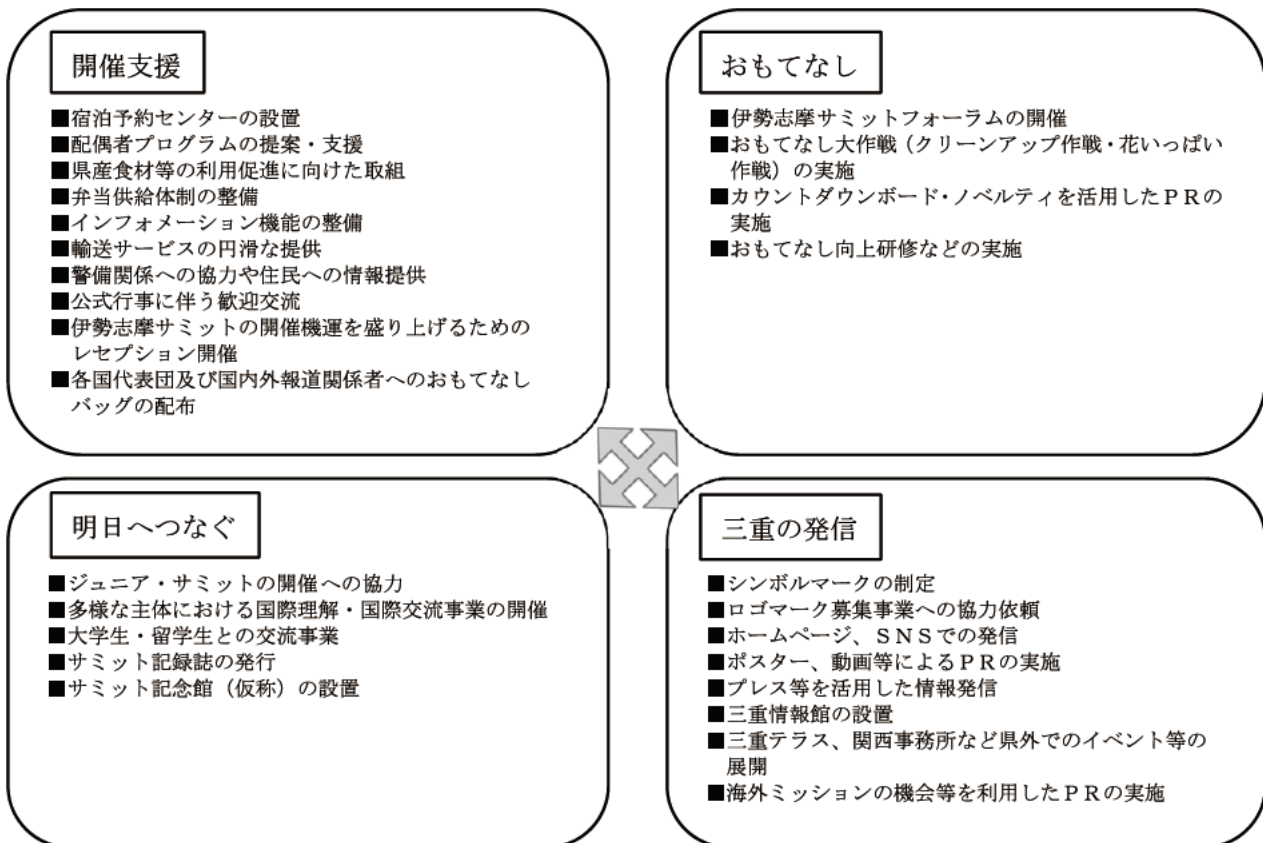
二つ目の柱の「おもてなし」の取組については、「おもてなし大作戦」として「クリーンアップ作戦」や「花いっぱい作戦」の県内各地での実施、伊勢志摩サミットフォーラムの開催、県内外へのカウントダウンボードの設置などの取組を行った。

三つ目の柱の「明日へつなぐ」の取組については、G7各国から中高生等が集まり討議を行うサミット関連行事のジュニア・サミットの開催への協力、国際理解・国際交流プログラムの実施などの次世代を担う若者・子どもの人材育成を行った。

四つ目の柱の「三重の発信」の取組については、三重情報館の設置、海外プレスツアーの実施、県民会議シンボルマークの制定、県民会議公式ポスターの掲出など、三重の魅力の発信を行った。

県民会議の具体的な事業内容においては、①県民会議が主体的に企画・実施する取組（県民会議事業）、②サミットを契機に県や市町が実施する取組や、県・市町・民間団体等と県民会議が連携・協力して実施する取組、③企業・団体・個人における県民会議事業の推進に資する取組（協賛、応援、寄附）を推進することとし、官民を挙げて総合的、一体的にサミット開催の支援に取り組んだ。

伊勢志摩サミット三重県民会議4つの柱に基づく事業展開



2 企業、団体等との協働の推進

(1) 寄 附

伊勢志摩サミット三重県民会議では、サミットという世界最高峰の国際会議が本県で開催されるにあたり、オール三重で一丸となってサミットを成功させ、開催後の地域の活性化につなげるための事業を展開した。これらの事業に県内外の企業、団体、個人と共に取り組むことを目的として、広く協力を求め、寄附を募集した。

寄附金の使途は県民会議が行う事業に資するために活用するものとし、受入の仕組みは、寄附者が税制上の優遇措置を受けられるようにするため、寄附先を三重県とし、三重県から県民会議へ負担金として支出することにした。

寄附の募集は、平成27年8月31日（月）から平成28年5月31日（火）までとし、寄附の募集にあたっては、県内企業や県に関係のある企業等に広く依頼をするとともに、個人からもふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の仕組みを活用して広く募集した。

また、個人からの寄附金募集にあたっては、より広く広報し、多くの方からご支援をいただくため、インターネットにより多数の個人から資金を集める手法であるクラウドファンディングを平成27年12月16日（水）から平成28年2月29日（月）まで活用した。

こうした取組により、寄附金は993件で計5億2,565万5,282円となった（詳細はP 306参照）。

(2) 協賛・応援

サミットの成功に向けて、県民会議では協賛・応援の仕組みにより県内外の企業、団体等多様な主体の有する技術や資源等を積極的に活用して事業を展開した。

協賛・応援の募集は平成27年8月31日（月）から開始した。終了時期は当初、平成28年5月31日（火）までとしたが、事業を見直し、5月10日（火）に終了した。協賛199件、応援843件の実績であった（詳細はP 271参照）。

協賛としては、県民会議事業への飲食料品をはじめとする自社製品の提供や、自社の技術やノウハウ等、各種サービスの提供などがあり、事業をより効果的かつ効率的に実施することができた。また、県民会議公式ポスター制作への協賛や、クリーンアップ作戦への参加、外国語案内ボランティアの派遣といった形でのご支援もいただいた。

応援事業としては、サミット応援商品の開発や、サミット応援セールの開催の他、講演会や演奏会でのサミットのPR、自社の店舗や施設でのサミット応援メッセージやポスター掲示によるPR、県民会議のシンボルマークの活用などに取り組んでいただくことにより、広くサミットの情報発信し、開催機運を醸成することにつながった。

サミット終了直後の5月28日（土）、伊勢志摩サミットにご支援、ご協力いただいた多くの方々へ感謝の意を表するとともに、サミットのレガシー（資産）を引き継ぎ、ポストサミットの取組をスタートすることを宣言するための新聞広告を、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、産経新聞、中日新聞、伊勢新聞の計7紙に掲載した。



伊勢志摩サミットへのご支援とご協力、ありがとうございました





三重県民の皆さまをはじめ、全国の企業や団体の皆さま等からの温かいご支援とご協力のおかげで、伊勢志摩サミットは、大きな成果とともに、無事閉幕しました。心から感謝を申し上げます。おもてなし大作戦、協賛・応援・寄附、外国語案内ボランティア、ジュニア・サミットなど様々な機会を通じて、産・学・民・官が一体となり、素晴らしい力を発揮できたことは、私たち全員の誇りです。

三重県では、伊勢志摩サミットの資産（レガシー）を三重の未来に生かしていくため、サミットを契機とした様々な事業を展開していきます。引き続き皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



伊勢志摩サミット三重県民会議会長
三重県知事 鈴木 英敬



様々な現場で活躍した外国語案内ボランティア



26ヶ国（地域）のプレスからの取材を受けた海外プレスツアー



17都府の若者28人が経験し、地元との交流を深めたジュニア・サミット



地元の名産まがー丸となっておもてなしを行った総会行事



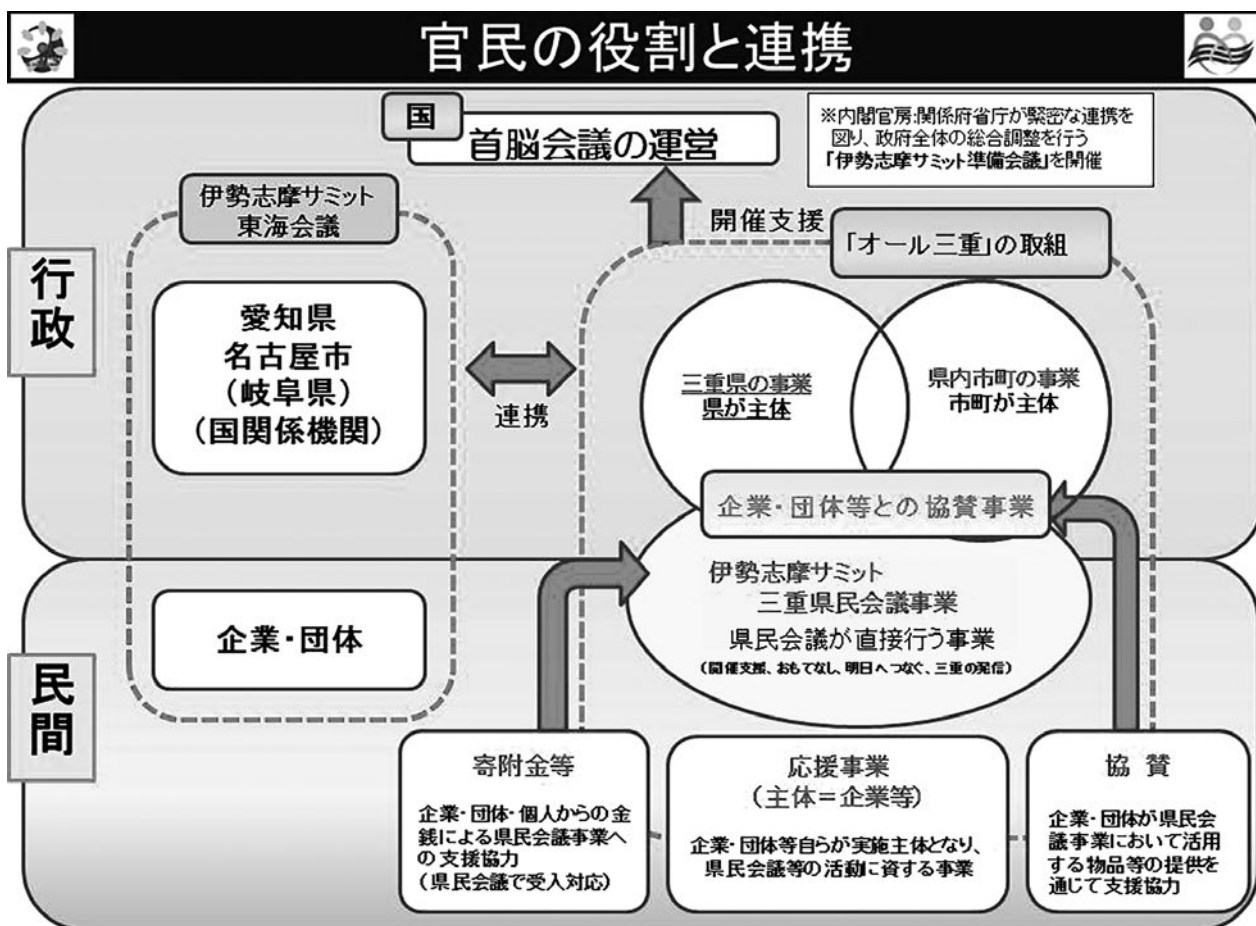
三重県内全29市町で取り寄せられ、11万本以上の花が飾られた「花いっぱい作戦」



6万人以上の方々に参加いただいた「クリーンアップ作戦」

—— つぎの三重へ、つぎの明日へ ——

新聞広告



官民の連携と役割

3 伊勢志摩サミット通信

伊勢志摩サミット三重県民会議が実施する取組や、伊勢志摩サミット関連情報について県民会議会員等と共有するため、「伊勢志摩サミット通信」を発行し、県民会議構成団体（会員140団体、特別顧問、顧問）等に主にE-mailにより配信し、併せて県民会議ホームページにも掲載した。

【発行実績（平成28年10月時点）】

- 第1号（平成27年11月6日発行）
- 第2号（平成27年12月18日発行）
- 第3号（平成28年1月8日発行）
- 第4号（平成28年2月25日発行）
- 第5号（平成28年3月30日発行）
- 第6号（平成28年5月13日発行）
- 第7号（平成28年6月2日発行）
- 第8号（平成28年9月6日発行）
- 第9号（平成28年9月16日発行）
- 第10号（平成28年10月11日発行）
- 第11号（平成28年10月24日発行）

【サミット通信の例】



サミット通信第1号



サミット通信第7号

4 広報計画

すべての方にとって分かりやすい広報とするため、開催までの節目日（サミット開催200日前、150日前、100日前、50日前等）を展開軸とする広報を実施した。

節目日を含む概ね2週間前後を「〇〇日前ウィーク」と設定し、県および県民会議の事業や市町との連携事業、さらには応援事業等の広報要素を「〇〇日前ウィーク」の中に束ね、およそ50日間隔の「広報・発信のリズム」、「広報のヤマ場」を創ることにより、広報のテーマ浸透や県民参加などの各種活動の活発化を推進した。

上記に合わせて、県各部署及び県内企業等の独自事業等についても、各節目日での開催を推進した。

【各節目の主な活動】

■サミット開催200日前（平成27年11月8日（日））ウィーク

※重点ポイント：県内を中心としたサミットの認知促進

- 1 三重県庁カウントダウンボード除幕式
- 2 県内へのカウントダウンボードの一斉設置
- 3 県内集客施設（イオンモール東員）でのサミット開催200日前イベント
- 4 県による広報（「みえだより」）でのサミット特集の発行
- 5 県民会議ホームページトップ画面でのカウントダウン表示開始

6 市町・県各部局等と連携した広報

市町イベント：14件 県各部局イベント：11件

■サミット開催150日前（平成27年12月28日（月））ウィーク

※重点ポイント：県内に加え、首都圏をはじめとする県外でのサミットの認知促進、興味喚起

- 1 県外（東京 三重テラス）でのサミット開催150日前イベント
- 2 カウントダウンボードの県外設置
- 3 県内市町、各県庁舎での懸垂幕・横断幕の設置
- 4 公式ポスター第3弾の発表
- 5 第2回伊勢志摩サミットフォーラム開催
- 6 市町・県各部局・応援事業等と連携した広報

市町イベント：8件 県各部局イベント：9件 応援事業イベント：1件

■サミット開催100日前（平成28年2月16日（火））ウィーク

※重点ポイント：県内及び県外に加え、国際的な発信によるサミットの認知促進、興味喚起、行動喚起

- 1 「おもてなし大作戦」キックオフイベント
- 2 外国語案内ボランティアへの研修開始
- 3 海外プレスツアーの実施
- 4 海外メディアでの広告展開
- 5 伊勢志摩サミット開催・I C E T T設立25周年記念事業
「ASEAN環境フォーラム in 三重」の共催
- 6 ホームページ・SNSリニューアル
- 7 市町・県各部局・応援事業等と連携した広報

市町イベント：35件 県各部局イベント：30件 応援事業イベント：1件

■サミット開催50日前（平成28年4月6日（水））ウィーク

※重点ポイント：県内及び県外に加え、国際的な発信によるサミットへの行動促進と県内アクションの活発化

- 1 伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」～「花いっぱい作戦」スタート
- 2 第3回伊勢志摩サミットフォーラム開催
- 3 外国語案内ボランティア接遇研修の実施
- 4 公式ポスター第4弾の発表
- 5 海外プレスツアーの実施
- 6 海外メディアでの広告展開
- 7 市町・県各部局・応援事業等と連携した広報

市町イベント：37件 県各部局イベント：7件 応援事業イベント：1件

第2章 開催支援

1 宿泊予約センターの設置

サミット開催時に集中的に来県する関係者の宿泊先を、安定的かつ効率的に確保・提供するため、運営事業者を公募し、県民会議の公認機関として「伊勢志摩サミット宿泊予約センター」を設置した。

宿泊予約センターでは、サミット関係者の宿泊先となるホテル等を確保し、宿泊希望者に対し、申込、配宿、精算、情報提供等のサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受入にあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行った。

(1) 運営事業者

伊勢志摩サミットに係る宿泊手配等業務コンソーシアム

(株式会社JTB中部、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社日本旅行の3社による共同事業体)

(2) 設置期間

平成27年8月24日(月)から平成28年7月15日(金)まで

(3) 取扱対象者

G7各国代表団、報道関係者、日本政府関係者、警備関係者、消防関係者、支援事業者等

(4) 運営方法

宿泊予約センターの運営は、宿泊予約センターと宿泊施設、宿泊者間の契約に基づく仲介業務による手数料収入で運営された。

(5) 取扱件数等

宿泊予約センターを通じたサミット関係者の宿泊は、県内外で延べ約38万3千人、1日あたり最大約2万人(5月25日の宿泊)であった。志摩市、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町、津市、松阪市、菰野町、四日市市など県内16市町の他、名古屋市、常滑市を含めた計18市町の約300宿泊施設から宿泊予約センターに客室の提供を受けた。

<宿泊者の内訳>

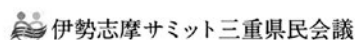
区分	宿泊期間	延べ人数
G7各国代表団	5/16～5/28	約700人
報道関係者	5/17～5/29	約3,500人
警備関係者	—	約345,000人
支援事業者ほか	4/25～6/10	約33,000人

(6) スケジュール

平成27年	7月	運営事業者公募
	8月24日	宿泊予約センター設置
	8月31日～9月7日	宿泊施設説明会
	10月1日	宿泊予約センター事務所開所
	12月、28年1月、3月	各国代表団等受入施設意見交換会
	12月21日	宿泊予約センターホームページ開設
平成28年	1月20日、21日	報道関係者受入施設説明会
	1月22日、25日	報道関係者向け宿泊予約申込に関する説明会
	1月29日～4月25日	報道関係者のWEBシステム予約受付
	2月20日～3月16日	警察関係者受入施設説明会
	4月18日	外国人サミット関係者の受け入れに関するおもてなし研修
	5月23日～28日	現地拠点（志摩市内ホテル）設置
	5月23日～27日	国際メディアセンター内デスク設置

(7) 宿泊予約センターホームページ開設

平成27年12月、報道関係者等の予約申込受付を行うため、ホームページを開設した。



伊勢志摩サミット宿泊予約センターのご案内

G7 Ise-Shima Summit Accommodation Booking Center

伊勢志摩サミット宿泊予約センターでは、伊勢志摩サミット三重県民会議との協定の下、サミット開催時における関係者（各国代表団、日本政府関係者、報道関係者、支援事業者等）に対し、宿泊予約業務を行います。サミット開催時の宿泊申込は、宿泊予約センターをご利用ください。

The G7 Ise-Shima Summit Accommodation Booking Center, established under the agreement with the G7 Ise-Shima Summit Mie Citizens Council, will offer accommodation booking services for G7 delegations, journalists, contractors and other concerned parties.

報道関係者を対象とする宿泊申込Webサイトを1月29日（金）午前10:00（日本時間）に開設します。宿泊申込は先着順となります。開設までしばらくお待ちください。ただし、ホテルリストは下記よりご覧いただくことが可能です。

The accommodation booking website for journalists will open at 10:00 am Japan time (GMT+9) on 29 January 2016. Rooms will be reserved on a first-come-first-served basis.

Please refer to the Hotel List as follows.

尚、ホテルの収容人数の都合上、IMCから近いホテル（伊勢市や鳥羽市など）だけでなく、IMCから離れたホテル（津市や松阪市など、IMCから車で所要時間90分ほど）となる可能性があります。

シャトルバスの運行情報は、後日掲載いたします。

(宿泊予約センターホームページ)

(8) 宿泊施設説明会の開催

伊勢志摩地区などの宿泊施設を対象に、平成27年8月から9月にかけて、県内5箇所、宿泊予約センターの役割・機能や伊勢志摩サミットの概要、宿泊受け入れにあたっての留意事項等についての説明会を計10回開催し、客室提供への協力を依頼した。

また、宿泊予約センターに客室を提供した宿泊施設を対象に、平成27年12月から28年3月にかけて、各国代表団、報道関係者、警備関係者といったカテゴリー別に、宿泊受け入れに関する説明会等を順次開催した。

(9) 外国人サミット関係者の受け入れに関するおもてなし研修の実施

平成28年4月18日（月）、伊勢市において、サミット期間中に各国代表団や報道関係者など外国からの宿泊客を受け入れるホテル従業員を対象としたおもてなし研修を実施した。

<研修内容>

- ・欧米人ビジターが求めるおもてなしの基本知識
- ・国際プロトコールについての知識
- ・ホテル館内に必要なおもてなしの準備
- ・おもてなし英語の基礎
- ・想定できるトラブルとトラブルシューティング など

(10) 国際メディアセンター内デスク設置

平成28年5月23日（月）から27日（金）まで、国際メディアセンター内に宿泊予約センターのデスクを設置し、報道関係者等の宿泊変更等の支援を行った。

(11) 観光振興に関する取組等

サミットを契機とした訪日外国人の増加に向け、伊勢志摩サミット開催と魅力ある三重県を海外に紹介するため、平成28年1月、「JAPAN INFOCUS」（JTBグループが全世界の旅行会社約5000社へ月1回配信するメールマガジン）1月号、平成28年4月、「JTBGMT News Letter」（JTBグループ在外各社約270拠点に配信するニュースレター）4月号で三重県特集を実施した。

なお、4、5月の伊勢志摩方面への旅行について「宿が取れないのではないかな」などの風評が一部であり、県民会議では、その対策として県雇用経済部観光局と連携し、旅行代理店や観光客への適時的確な情報提供、伊勢志摩観光PRに取り組むことにより、正確な理解の促進と誘客に努めた。

(12) 大規模な宿泊取消・変更

平成28年4月に発生した熊本地震や、サミット終了後に行われたオバマ米大統領の広島訪問により、警備計画の変更が生じたことから、警備関係者の宿泊先において、急遽、宿泊予定の部隊が来県を中止したり、滞在中の部隊が予定よりも早く帰るといった事態が生じた。このため、大規模な宿泊取消や変更への対応を行った。

サミット裏話・こぼれ話 ～ある旅館のおもてなし～

伊勢志摩サミット開催前後は、警備のために日本全国の警察の方々にお越しいただいていました。

鳥羽の旅館に宿泊された警察官のご家族の方から、鳥羽市に届いたメールをご紹介します。

（以下、メール抜粋）

私の息子は警察官です。23日よりサミットの警備のため鳥羽の旅館にお世話になっていたそうです。

昨日帰宅した息子の話で、夜中に旅館に帰ってもその時間に合わせて食事支度をしてくれたこと。早朝の勤務で朝食は要らないと告げると、コンビニを走り回ってパンを準備してくれたとのこと。その気持ちでしんどさも半減したはずですよ。

しっかりと息子の胃袋と精神を支えてくださった気持ちに、話を聞き鳥羽の方々の親切さに感謝しました。

報道では「伊勢志摩で鳥羽が抜けている」なんて話も聞きましたが、「あんな美味しいもんが毎日食べれるんやったら住みたいわ。釣りしても大きい釣れそうやしなあ」なんて鳥羽のファンになった様子でした。

私自身、小学生の時の修学旅行以来訪れていませんが、思い出をたどりに行かせて頂きますね。

どうしてもお礼が言いたくて。本当ありがとうございました。

以上、このような温かいメールを送付いただき、ありがとうございます。

親切・丁寧なおもてなしをしていただいた旅館・ホテルの皆さまのおかげで、三重のファンが増えました。

2 県産食材等の利用促進

(1) 県産食材等のサミットでの活用

首脳会議、配偶者プログラム、国際メディアセンターにおいて、県内26市町から、把握可能な範囲では少なくとも269品目の県産食材等（食材・加工品・日本酒）が活用された。

平成27年10月に外務省に提出した推薦リストからは、561品目のうち、延べ198品目の県産食材等が活用され、推薦リスト掲載品目以外でも多くの県産食材等が活用された。

首脳の食事では県産の日本酒が乾杯・食中酒として使われたほか、県産のジュースも振る舞われた。配偶者の食事では、5月26日の昼食は県立相可高等学校の生徒が提供するなど、将来を担う地元の若者の活躍が見られた。

国際メディアセンターでは、三重県産の食材がふんだんに使われたメニューが提供されたほか、伊勢茶の呈茶や松阪牛の試食等のイベントも行われ、世界各国から取材に訪れた報道関係者に対して三重の食を発信することができた。

県産食材以外にも、首脳会議のテーブル・イス、国際メディアセンターダイニングの割り箸など県産木材を使った製品の他、総理夫人主催昼食会での机・イスや食器類等、少なくとも42品目の県産品が活用された。

※サミット食材等活用リストはP 317参照

(2) その他サミット関連行事での活用

サミット当日の他、サミットに向けての各種関連行事においても、県産食材をふんだんに活用した料理が振る舞われ、三重県の食の魅力を国内外に向け発信する絶好の機会となった。

- ・伊勢志摩サミット開催レセプション～三重へのいざない～（P 81参照）
- ・海外プレスツアー（P 145参照）
- ・各国先遣隊歓迎夕食会（P 84参照）

(3) 県産食材等情報の収集及び働きかけ

県民会議では、1品でも多くの県産食材、県産品、伝統工芸品等が活用され、三重県の魅力を世界に向けて発信できるよう、外務省への要請や関係機関への働きかけ等の取組を行った。

三重県が誇る質の高い県産食材等の情報を収集し、推薦リストとして取りまとめ、平成27年10月9日（金）、鈴木知事から外務省へ提出した。また、関係ホテル等への働きかけや県民会議ホームページへの掲載等を行い、サミット関係施設における活用促進を図った。



鈴木知事から外務省齋木事務次官へ
提案書を手交



伊勢志摩サミット開催レセプション
～三重へのいざない～での
相可高等学校生による振る舞い



首脳の仕事で提供された
鮑のポワレ[※]



首脳の仕事で提供された
松阪牛フィレ肉[※]



国際メディアセンターダイニング



国際メディアセンターでの
松阪牛の振る舞い

【外務省に提出した推薦リスト等の概要】

リスト等名	概要
市町推薦食材リスト (205品目)	県内市町から推薦のあった食材のリスト
みえフードイノベーション食材カタログ (195品目)	これまでに三重県で取りまとめてきたリストからサミット向けに食材を抜粋
みえセレクションの食材リスト (8品目)	
県産加工食品推薦品リスト (113品目)	調味料、麺、漬物、餅菓子等の加工食品を県内事業者から公募
日本酒推薦リスト (40銘柄)	三重県内の蔵元が推薦する日本酒
三重県産材の説明資料	尾鷲ヒノキ等の県産材の紹介及びその製品カタログ
三重県産木材を使用した製品カタログ	—
パンフレット「三重の伝統工芸品」	伝統工芸品の紹介及びその活用例
三重テラスでの伝統工芸品活用例	—
花き花木推薦リスト	県産花き花木の推薦リスト

(県産食材等の利用促進の写真：※は外務省提供)

3 弁当供給体制の整備

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、県産食材を活用した安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供することを目的に、以下の2種類の弁当需要を想定し、それぞれに対応する供給体制を整備した。

- 1 屋外保管を前提とする大規模かつ継続的な弁当需要 (以下、「大規模需要」)
- 2 屋内保管を前提とする比較的小規模かつ短期・不定期的な弁当需要 (以下、「小規模需要」)

(1) 大規模需要への対応について

①業務内容

弁当の受注、製造、配送及び空容器の回収

②取扱対象者

警備関係者、消防関係者、医療関係者、現地スタッフ等

③実施事業者の選定

以下の方針に基づき、企画提案コンペを実施し、実施事業者を選定した。

【県内事業者の参画】

実施事業者の選定にあたっては、仕様書に、県内弁当製造事業者を1社以上含めることを参加資格にするとともに、配送事業者等についても可能な限り県内事業者を多く参画させるよう規定し、その参画度合を選定の評価基準の一つとすることで、県内事業者の参画を確保した。

また、より多くの県内事業者の参画を図るため、弁当の配送場所を2地区に分けることとした。

【食品衛生管理体制】

万全の食品衛生管理体制が確保できることを最重要方針とし、弁当の製造過程において、H A C C P (※) 及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理を実施するとともに、提供する弁当について、屋外で保管されることを想定し、三重県が定める食品の衛生管理指標の目標値の達成及び異物混入対策として金属探知機での検査等を求めた。

また、供給開始後も、月2回程度の監視指導を実施した。

(※) H A C C P：食品を製造する際に工程上の危害を起す要因を分析し、それを最も効率よく管理できる部分を連続的に管理して安全を確保する管理手法

【県産食材の活用】

弁当に使用する米は全て県産米とし、その他の県産食材についても、可能な限り使用に努めるよう、企画提案コンペの仕様書に規定した。

また、実施事業者決定後、県農林水産部と連携して県民会議から食材及びメニューの提案を行うなど、県産食材の活用促進に努めた。

④実施事業者

【A地区：志摩市】

・株式会社ローソンを代表とする4社による共同事業体

構成員：株式会社ローソン

オーケーズデリカ株式会社（県内弁当製造事業者）

株式会社キャリアカーサービス（県内運送事業者）

日本クッカー株式会社

【B地区：津市、伊勢市、鳥羽市等】

・株式会社セブン-イレブン・ジャパンを代表とする9社による共同事業体

構成員：株式会社セブン-イレブン・ジャパン

プレミアムキッチン株式会社（県内弁当製造事業者）
 わらべや東海株式会社
 フジフーズ株式会社
 株式会社エフベーカーコーポレーション
 株式会社ベストランス
 株式会社デイリートランスポート
 物産ロジスティクスソリューションズ株式会社
 日本ルートサービス株式会社

※本業務に係る必要経費については、実施事業者が弁当の販売収入を得て賄うこととした。

⑤供給実績

【料 金】 朝食400円、昼食650円、夕食650円

【供給期間】 平成28年3月24日（木）から5月29日（日）まで

【供給数】 約33万食

（内訳）

地区別：A地区 約247,000食、B地区 約83,000食

需要者別：警備関係者 約323,000食、消防関係者 約5,500食

医療関係者 約900食、現地スタッフ 約800食

※サミット開催期間中のピーク時には、1日あたり約2万食が供給された。

【活用県産食材】

18品目（両実施事業者の重複分を除く）

米、伊勢ひじき、あおさ佃煮、醤油、のり、かつお、ぶり、はなびらたけ、大豆、豚肉、鶏肉、さば、伊勢うどん、味付け海苔、あおさ海苔、ブナシメジ、小女子（こうなご）、小麦粉

【メニュー】

県産食材をふんだんに使用した弁当が、本業務のために開発・供給されるとともに、実施事業者が開催したサミットフェア等を通じて、東海・北陸地域において一般販売されるなど、県産食材の魅力をPRする取組も展開された。



県産食材をふんだんに使用したサミット弁当
 写真左：三重まんさい弁当、写真右：三重味わい幕の内弁当
 （株式会社ローソン） （株式会社セブン-イレブン・ジャパン）

(2) 小規模需要への対応について

①方針

比較的小規模かつ短期・不定期な弁当需要に対しては、地元の小規模な弁当製造事業者による供給が行えるよう、需要が発生するそれぞれの地域の商工団体等との連携・協力を基に、両者のマッチングを促進した。

②取組

サミット関連で活動する事業者等への聞き取りを行い、期間・地区ごとに発生する弁当需要量の把握に努めるとともに、各地域の商工団体等を通じて、弁当供給の意向や適性のある事業者及び供給可能な数量の把握に努め、得られた弁当の需要と供給に関する情報を相互に提供することで、マッチングを行った。

③供給事例

○志摩市弁当協力会

志摩市商工会が中心となって、市内の弁当製造事業者による団体（志摩市弁当協力会）を自主的に組織し、サミット関係者に対して、地元食材を活用した弁当を供給した。

【設 立 日】 平成28年2月19日（金）

【会 員 数】 16事業者（全て志摩市内の弁当製造事業者）

【取 扱 対 象 者】 海上保安庁、電力関係支援事業者等

【供 給 期 間】 平成28年5月12日（木）から5月29日（日）まで

【供 給 数】 約1万8千食

【活用県産食材】

少なくとも10品目を活用

（米、豚肉、ぶり、しらす、たこ、わかめ、ひじき、あらめ、あおさ、さば等）

※志摩市弁当協力会は、サミット期間限定ではなく、サミット後も、市内で開催される各種事業に対して弁当供給を行う組織として発足した。

4 外国語案内ボランティア

サミットの取材で三重県を訪れる外国人報道関係者の方々をおもてなしの心で歓迎し、円滑な取材・報道活動を行っていただくため、外国語による移動・滞在・観光等の支援を行うことを目的に外国語案内ボランティアを募集した。採用された方には事前に語学研修や接遇研修を受講していただいた。企業・学校単位の協賛事業として活動に参加された方を加えた総勢339名のボランティアの皆さんが、サミット開催に合わせ国際メディアセンターや県内主要ターミナルに設置されたインフォメーション等で活動した。

(1) 活動結果

活動期間	平成28年5月20日（金）から28日（土）まで
活動場所	11ヶ所のインフォメーション （国際メディアセンター、中部国際空港、名古屋駅、津駅、津なぎさまち、松阪駅、伊勢市駅、近鉄宇治山田駅、近鉄五十鈴川駅、鳥羽駅、近鉄鶴方駅）
活動人数	339名（うち一般公募277名、企業・学校（※）の協賛62名） （※）日本トランスシティ株式会社、株式会社百五銀行、住友電装株式会社、私立セントヨゼフ女子学園

(2) 募 集

【募集内容】

募集期間	平成27年10月30日（金）から12月10日（木）まで
募集方法	公益財団法人三重県国際交流財団を通じて募集
応募条件	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月1日現在15歳以上の方 ・英語により、案内等を行える方 ※目安・・・英検2級、TOEIC600点程度以上の英会話能力 日本語が母語でない方は、日本語能力検定N2程度以上の日本語能力 ・事前の研修に参加可能な方（3回程度）

【募集結果】

応募総数	1,003名
応募者内訳	地域別：県内815名、県外188名 年代別：10代298名、20代179名、30代108名、40代135名、 50代158名、60代102名、70代18名、80代5名
採用人数	300名（募集開始時予定数200名程度）
採用者内訳	地域別：県内261名、県外39名 年代別：10代60名、20代68名、30代39名、40代49名、 50代52名、60代28名、70代3名、80代1名

(3) 研 修

【第1回語学研修】

研修日程	鈴鹿会場：平成28年2月14日（日）10時から15時まで 鈴鹿医療科学大学・白子キャンパス
	伊勢会場：平成28年2月20日（土）10時から15時まで 伊勢市観光文化会館
参加者	鈴鹿会場：133名　伊勢会場：163名

内 容：

県民会議より、「伊勢志摩サミットについて」と題し伊勢志摩サミットについての概要や、県民会議の取組等を紹介した。

続いて、通訳講師による「通訳の基本」「公式の場での外国語の言葉づかいについて」「活動日までに自分でできる通訳トレーニング」についての講義と、参加者同士のロールプレイングを行った。

【第2回語学研修】

研修日程 鈴鹿会場：平成28年3月13日（日）10時から15時まで

鈴鹿医療科学大学・白子キャンパス

伊勢会場：平成28年3月26日（土）10時から15時まで

伊勢市観光文化会館

参加者 鈴鹿会場：136名 伊勢会場：153名

内 容：

第2回語学研修は、国際メディアセンター班と駅・なぎさまち班の2つのグループに分けて研修を行った。

国際メディアセンター班は、一般財団法人日本国際協力センター（J I C E）講師により、交通・観光案内を想定したロールプレイング中心の講習とイレギュラーで対応に困るような場面を想定した講義を受けた。

駅・なぎさまち班は、伊勢市観光協会職員から伊勢市観光案内所での活動の紹介をいただき、J I C E 講師により、駅・なぎさまちでの交通・観光案内を想定したロールプレイング中心の講習とイレギュラーで対応に困るような場面を想定した講義を受けた。

【接遇研修『心でつながるインバウンド対応』】

研修日程 第1回：平成28年4月15日（金）13時30分から16時30分まで

三重県総合文化センター・生涯学習棟大研修室

第2回：平成28年4月16日（土）9時から12時まで

三重県伊勢庁舎 4階会議室

第3回：平成28年4月16日（土）13時30分から16時30分まで

三重県伊勢庁舎 4階会議室

第4回：平成28年4月17日（日）9時から12時まで

鈴鹿医療科学大学・白子キャンパス3号館

第5回：平成28年4月17日（日）13時30分から16時30分まで

鈴鹿医療科学大学・白子キャンパス3号館

参加者 第1回：61名、第2回：58名、第3回：52名、第4回：57名、第5回：53名

内 容：

接遇マナー講師により、「接遇の重要性と基本マナー」として接遇の基本とおもてなしの心の表し方（笑顔、身だしなみ、立ち居振る舞い等）及び、「グローバル化と異文化理解」として国別・地域別のコミュニケーションの取り方の違いを学んだ。また、講習の最後には、「異文化対応力の向上」として非言語のコミュニケーションやプロトコールについて学んだ。



第1回語学研修



接遇研修

(4) 結団式・解散式

【結団式】

開催日程：平成28年5月15日（日）14時から16時まで 津市センターパレスホール

参加者： 217名

内 容：

結団式では、鈴木知事による激励、外務省大臣官房伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局 滝崎事務局長からのメッセージの代読の後、ボランティア代表による決意表明、鈴木知事からのIDカードとユニフォームの手渡しの後、全員での記念撮影を行った。

その後、協賛事業として、大塚製薬株式会社が『ボランティア活動時の熱中症予防について』、エルテス株式会社が『SNSの怖さを知る』について講習を行った。

活動用のユニフォームは、プリントデザインを県立飯野高等学校 応用デザイン科2年 伊藤萌香さんが考案し、大塚製薬株式会社に協賛いただき製作した。



結団式集合写真



ユニフォーム完成お披露目会（H28.5.12 県庁）

【解散式】

開催日程：平成28年6月11日（土）14時から15時30分まで 津市センターパレスホール

参加者： 239名

内 容：

解散式では、鈴木知事が感謝と今後への期待を述べ、代表者へ感謝状を手渡した。続いて、ボランティアからの活動報告と事務局からの今後の活動についての案内がなされ、全員で記念撮影を行った。

その後、それぞれの体験を共有し、今後の取り組みに繋げていく場として交流を行った。



解散式集合写真

サミット裏話・こぼれ話 ～舞台も自分たちで作る!～

国際メディアセンターで外国語案内ボランティアが活躍した「交通・観光案内デスク」。
最初は、観光案内パンフレットは並べたものの、殺風景でさみしい感じでしたが、ボランティアの皆さんが活動を開始したとたん、デスクがみるみる間に充実していきました。
パソコンで観光の動画と音楽を流し、地図をポスターのように貼り、英語の案内表示を手づくり、必要な文具や案内パンフレット、時刻表なども自主的に持ち寄って・・・。
用意された舞台で活躍するだけでなく、活躍するための舞台から工夫して作り上げてしまう、ボランティアのみさんのパワーとアイデアは感動ものでした!

サミット裏話・こぼれ話 ～国際メディアセンターで国内メディアの方々にも通訳ボランティア?～

国際メディアセンターでの外国語案内ボランティアの業務は、海外メディアの方々に対する交通と観光の案内、のほけでした。
が、国内メディアの方から、「海外メディアの方にインタビューしたいのですが、英語に自信がないので、通訳していただけませんか?」のまさかの通訳ボランティア依頼!(しかも評判を聞きつけたのが、2件や3件ではなかった・・・)
国際メディアセンターの外国語案内ボランティアの方々は、本来業務ではない国内メディアのための通訳業務も快くお受けくださいました。
海外メディアに対してはもちろん、国内メディアに対しても、素晴らしいおもてなしをしていただきました!

5 インフォメーション機能の整備

サミットの取材で訪れる海外報道関係者の移動・滞在・観光等の支援を行うことを目的に国際メディアセンターや県内主要ターミナルにインフォメーションを設置した。玄関口となる愛知県の中部国際空港へは、伊勢志摩サミット東海会議※（以下、「東海会議」）が設置したおもてなしブースと連携し、県民会議独自のワンストップ型の簡易案内カウンターを設置した。また、名古屋駅でも東海会議のおもてなしブースと連携し、県民会議が募集した外国語案内ボランティアの派遣を行い駅構内で乗換えや観光案内の役割を担った。

【インフォメーション設置一覧表】

設置地区	設置場所	設置期間	運営主体
国際メディアセンター	国際メディアセンター正面玄関付近	5/24～5/28	県民会議
津地区	津エアポートライン津なぎさまち高速船旅客ターミナル	5/23～5/28	津市・県民会議
	津駅前観光協会案内所	5/23～5/28	津市
	近鉄津駅改札付近	5/23～5/28	近鉄
松阪地区	松阪駅観光協会案内所	5/23～5/28	松阪市
	近鉄松阪駅改札付近	5/23～5/28	近鉄
伊勢地区	伊勢市駅観光案内所	5/20～5/28	伊勢市
	近鉄伊勢市駅改札付近	5/23～5/28	近鉄
	近鉄宇治山田駅観光案内所	5/20～5/28	伊勢市
	近鉄宇治山田駅改札付近	5/24～5/28	近鉄
	近鉄五十鈴川駅改札付近	5/24～5/28	近鉄
鳥羽地区	鳥羽駅観光案内所	5/20～5/28	鳥羽市
志摩地区	鵜方駅観光協会案内所	5/20～5/28	志摩市
名古屋駅	名古屋駅構内	5/23～5/28	東海会議
中部国際空港	津エアポートラインセントレア旅客ターミナル	5/23～5/26	県民会議
	国際線到着ロビー前簡易カウンター	5/23～5/26	県民会議

※伊勢志摩サミット東海会議

東海地域の魅力を世界に発信することを目的に、三重県、愛知県、名古屋市の行政機関、中部経済連合会をはじめとする経済団体や運輸業界、観光協会など計24団体で構成する官民一体の組織（詳細はP 205参照）。

(1) 国際メディアセンター

国際メディアセンターにおいては、外務省が設置したインフォメーション&ITヘルプデスクの近くに「観光・交通案内デスク」を設置し、報道関係者に対し、観光・交通の案内と共に三重の情報発信を行った。



国際メディアセンター内「観光・交通案内デスク」



津なぎさまち高速船旅客ターミナル



伊勢市駅構内

(2) 県内主要ターミナル

県内の主要ターミナルにおいては、津なぎさまち高速船旅客ターミナル、津駅、松阪駅、伊勢市駅、近鉄宇治山田駅、近鉄五十鈴川駅、鳥羽駅、近鉄鶴方駅にインフォメーションを設置した。

(3) 中部国際空港

中部国際空港においては、東海会議が国際線到着ロビー付近に、伊勢志摩への交通案内と中部の情報発信を行うおもてなしブースを設置した。県民会議は、おもてなしブースに立寄る時間のない方へ国際線到着ロビー前にワンストップの簡易インフォメーションカウンターを設置し、主に交通案内を行った。また、高速船（中部国際空港⇄津）の旅客ターミナルにもインフォメーションを設置した。

(4) 名古屋駅

名古屋駅においては、東海会議が伊勢志摩への交通案内と中部の情報発信を行うおもてなしブースを設置した。県民会議から派遣した外国語案内ボランティアが、駅構内でおもてなしブースへの誘導や交通・観光案内を行った。

6 輸送サービスの円滑な提供

サミットの取材で訪れる報道関係者の移動の支援を行うことを目的に、外務省と連携しシャトルバスの運行を行った。サミット開催期間中の国際メディアセンター発着の報道関係者用シャトルバスを外務省が運行し、サミットの取材で三重県を訪れる海外報道関係者に対する空港と宿泊施設間の移動支援を県民会議が担った。

(1) 国際メディアセンター発着のシャトルバス

外務省は、サミット期間中に、報道関係者が取材のために訪れる国際メディアセンターと各宿泊施設間の

シャトルバス、サミット取材用シャトルバスを運行した。

【国際メディアセンター発着、シャトルバス運行一覧】

区分	区間	運行期間	運行間隔
国際メディアセンター シャトルバス	国際メディアセンター ⇔ 伊勢地区 ⇔ 松阪地区 ⇔ 久居地区 ⇔ 津地区 ⇔ 亀山地区	5/24～5/28	約60分間隔にて 24時間運行
	国際メディアセンター ⇔ 鳥羽地区	5/24～5/28	約20分間隔にて 24時間運行
	国際メディアセンター ⇔ 五十鈴川駅・伊勢市駅	5/24～5/28	30分間隔にて 6:00～22:00の間運行
取材用バス	国際メディアセンター ⇔ サブメディアセンター1	議長会見に合わせて運行	
	国際メディアセンター ⇔ 伊勢神宮(内宮) ミキモト真珠島 サブメディアセンター1	配偶者プログラムに合わせて運行	
	国際メディアセンター ⇔ サブメディアセンター2	各国首脳記者会見に合わせて運行	
	国際メディアセンター ⇔ 志摩地中海村	報道関係者の取材に合わせて運行	
	国際メディアセンター ⇔ 中部国際空港	首脳の到着に合わせて運行	

(2) 津なぎさまち高速船旅客ターミナル発着のシャトルバス

県民会議は、サミットの取材のために来訪する主に海外報道関係者に対して、中部国際空港から高速船を利用し、最短ルートで宿泊地までを結ぶ、津なぎさまち高速船旅客ターミナル発着のシャトルバスを運行した。

【津なぎさまち高速船旅客ターミナル発着、シャトルバス運行一覧】

区分	区間	運行期間	運行間隔
プレス用シャトルバス	津なぎさまち高速船旅客ターミナル ⇒ 鳥羽地区 ⇒ 伊勢地区 ⇒ 津地区経由、松阪地区 (往路)	5/24・25	中部国際空港からの高速船到着時間に合わせ て11:00～23:00の間で 3ルート計10便運行
	往路と逆コース	5/28	津なぎさまちの高速船の出発時間に連絡し、 3ルート計12便運行



国際メディアセンター、シャトルバス乗り場



津なぎさまち、バス乗り場

7 警備関係への協力や住民への情報提供

(1) 住民懇話会

警備関係機関と連携しながら住民の皆さんに情報提供を行い、サミット開催に伴う生活への影響について理解と協力を求めるとともに、住民の皆さんから意見や要望を聴き取り、今後の事業方針に活用していくことを目的として、関係4市町（伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町）において住民懇話会を開催した。

主催：三重県

共催：海上保安庁第四管区海上保安本部

三重県警察及び関係4市町

住民懇話会は、平成27年11月中旬から平成28年4月末までの間で、3回に分け計20会場で開催し、合計1,096名の参加があった。

なお、住民懇話会は、懇話会に参加できない方にも広く内容を伝えるため、全て公開で行った。



第2回住民懇話会（賢島）

【第1回住民懇話会】（計191名参加）

各地区を代表する自治会（区）長を対象として、サミット開催に関する説明を行った。

地域	日付	時間	場所	人数
南伊勢町	平成27年11月20日（金）	19:00～	南伊勢町役場南勢庁舎	32名
鳥羽市	平成27年11月28日（土）	11:00～	鳥羽市民文化会館	36名
志摩市	平成27年11月28日（土）	15:00～	志摩市役所	38名
伊勢市	平成27年12月10日（木）	19:00～	ハートプラザみその	85名

- 対 象：地元自治会（区）長
 内 容：サミット警備の概要（第四管区海上保安本部・三重県警察）
 各市町のサミットへの取組（関係4市町）
 サミットの概要及び県民会議の取組（伊勢志摩サミット推進局）

【第2回住民懇話会】（計684名参加）

住民の皆さんや地元企業に広く参加を呼びかけ、サミット開催に関する説明を行った。

地域	日付	時間	場所	人数
志摩市	平成28年2月7日（日）	19:00～	浜島B&G海洋センター	52名
	平成28年2月10日（水）	19:00～	磯部生涯学習センター	62名
	平成28年2月11日（木）	14:00～	志摩市役所	94名
		19:00～	志摩市役所	34名
	平成28年2月13日（土）	19:00～	神明地区公民館	99名
	平成28年2月15日（月）	19:00～	賢島パークホテル「みち潮」	53名
	平成28年2月21日（日）	13:30～	間崎島開発総合センター	40名
平成28年2月27日（土）	14:00～	志摩文化会館	90名	
	19:00～	大王公民館	34名	
南伊勢町	平成28年2月7日（日）	14:00～	南伊勢町町民文化会館	60名
伊勢市	平成28年2月13日（土）	14:00～	伊勢市生涯学習センターいせトピア	40名
鳥羽市	平成28年2月28日（日）	14:00～	鳥羽市民文化会館	26名

- 対 象：参加制限なし
 内 容：サミット警備の概要（第四管区海上保安本部・三重県警察）
 各市町のサミットへの取組（関係4市町）
 サミットの概要及び県民会議の取組（伊勢志摩サミット推進局）
 サミット期間中の消防体制（防災対策部）

【第3回住民懇話会】（計221名参加）

住民の皆さんや地元企業に広く参加を呼びかけ、サミット期間中の生活への影響に関する説明を行った。

地域	日付	時間	場所	人数
南伊勢町	平成28年4月29日（金）	14:00～	南伊勢町役場南勢庁舎	38名
伊勢市	平成28年4月29日（金）	19:00～	伊勢市生涯学習センターいせトピア	53名
志摩市	平成28年4月30日（土）	14:00～	磯部生涯学習センター	100名
鳥羽市	平成28年4月30日（土）	19:00～	鳥羽市商工会議所3階かもめホール	30名

- 対 象：参加制限なし
 内 容：期間中の会場周辺での海上航行規制（第四管区海上保安本部）
 期間中の交通規制（三重県警察）
 各市町のサミットへの取組（関係4市町）
 県民会議の取組（伊勢志摩サミット推進局）
 期間中の消防体制（防災対策部）
 期間中の救急医療体制（健康福祉部）

(2) その他

【伊勢志摩サミット座談会】（計485名参加）

志摩市自治会連合会が主催する伊勢志摩サミット座談会に参加し、サミット開催直前や開催中の生活への影響に関する説明を行った。

なお、伊勢志摩サミット座談会は、住民懇話会に出席した方から出された「公開の場では、質問や意見がしにくい。」との声を受けて、報道関係者には非公開とした。

地域	日付	時間	場所	人数
志摩市	平成28年5月2日（月）	13:30～	間崎島開発総合センター	30名
	平成28年5月7日（土）	14:00～	志摩文化会館	54名
		16:30～	船越地区公民館	39名
		19:00～	磯部生涯学習センター	64名
	平成28年5月8日（日）	14:00～	神明小学校	169名
		16:30～	浜島B&G海洋センター	55名
		19:00～	志摩市役所	74名

内 容：サミット開催への理解と協力要請（外務省（一部会場のみ参加））

県民会議の取組（伊勢志摩サミット推進局）

期間中の会場周辺での海上航行規制（第四管区海上保安本部）

期間中の交通規制（三重県警察）

警備関係機関への協力要請（志摩市）

期間中の消防体制（防災対策部）

期間中の救急医療体制（健康福祉部・志摩広域消防組合）

【その他住民や企業等を対象とした説明】（計420名参加）

住民懇話会や伊勢志摩サミット座談会以外にも、説明会を開催して欲しいとの要請を受けた場合や、他機関主催会議に出席する機会を利用して、住民の皆さんや自治会長、企業等を対象とした説明を計10回行い、420名の参加があった。

	月日	場所	参加者		内容
			対象	人数	
1	平成27年 9月25日（金）	志摩市役所	志摩市自治会長	20	志摩市自治会連合会理事会
2	平成27年 10月23日（金）	鳥羽市市民文化会館	鳥羽市自治会長	20	鳥羽市自治会連合会総会
3	平成27年 11月4日（水）	南伊勢町役場南島庁舎	南伊勢町自治会長	30	南伊勢町区長会
4	平成27年 11月5日（木）	伊勢市御菌総合支所	伊勢市自治会長	30	伊勢市総連自治会市長懇談会後
5	平成27年 11月18日（水）	伊勢市産業支援センター	朝熊山麓開発事業地立地事業所	22	朝熊山麓開発事業地立地事業所連絡会議
6	平成27年 12月1日（火）	プラザ洞津（津市）	（公社）三重県バス協会	22	三重県バス協会会議
7	平成27年 12月25日（金）	間崎島開発総合センター（志摩市）	間崎島住民	14	間崎地区住民懇談会の開始前

	月日	場所	参加者		内容
			対象	人数	
8	平成28年 3月27日(日)	間崎島開発総合センター(志摩市)	志摩市住民他	31	伊勢志摩サミット座談会 (外務省説明)
9	平成28年 3月27日(日)	神明小学校体育館	志摩市住民他	200	伊勢志摩サミット座談会 (外務省説明)
10	平成28年 5月17日(火)	宇治公民館(伊勢市)	伊勢おはらい町会議	31	伊勢志摩サミットおはらい町 懇話会

8 伊勢志摩サミット開催記念セミナー及び 伊勢志摩サミット開催レセプション ～三重へのいざない～

駐日外交団、駐日商工会議所、外国プレス等を対象に、三重の魅力を伝えるとともにサミットの開催機運を盛り上げるため、外務省飯倉公館でセミナーとレセプションを開催した。

三重の地に静かに息づく自然や伝統と、世界をリードし未来を動かそうとする革新の技を、「日本の原風景・心のふるさと三重」、「常に新しく、未来を生み出す三重」の2つのテーマで展開し、サミット開催地・三重のポテンシャルを体感していただいた。

日 時	平成27年10月27日(火) (第一部) 16時30分から17時30分まで 伊勢志摩サミット開催記念セミナー 「伝統と革新～日本のこころを三重から世界へ～」 (第二部) 18時から19時30分まで 伊勢志摩サミット開催レセプション～三重へのいざない～
場 所	外務省飯倉公館
参加者	(第一部) セミナー 約70名 (第二部) レセプション 約300名 駐日外交団、駐日商工会議所、外国プレス、三重県選出国會議員、関係企業等

(1) プログラム概要

【第一部】セミナー（三重県主催、外務省協力）

主催者挨拶：鈴木知事

トークセッション：「世界から見た三重の魅力！」

(出席者) 井原慶子氏（カーレーサー／慶應義塾大学大学院特任准教授）

片山右京氏（元F1ドライバー／Team Ukyo（チーム右京）代表）

鈴木亜久里氏（元F1ドライバー／ARTA Project プロデューサー／AUTOBACS RACING TEAM AGURI 代表・監督）

講演及び対談：「日本人の心のふるさと伊勢神宮」

(出演者) 講演 河合真如氏（神宮禰宜／神宮司廳文化部長）

対談 鷹司尚武氏（神宮大宮司）、鈴木知事



トークセッションの様子



対談の様子

【第二部】レセプション（外務省及び三重県の共催）

主催者挨拶：岸田外務大臣

安倍総理からのビデオメッセージ披露

主催者挨拶：鈴木知事

鏡割り：岸田外務大臣、鈴木知事、塩崎厚生労働大臣、

三重県選出国會議員（岡田衆議院議員、中川(正)衆議院議員、田村衆議院議員、
三ツ矢衆議院議員、島田衆議院議員、吉川参議院議員）

セミナー出席者（鷹司尚武氏、井原慶子氏、片山右京氏、鈴木垂久里氏）

乾杯の発声：三ツ矢衆議院議員

伊勢志摩サミットPR用DVD上映

和楽器演奏及びパフォーマンス（AUN-J）

抽選会

伊勢音頭（伊勢商工会議所女性部すまいる連）

締めの挨拶：池 史彦氏（本田技研工業株式会社代表取締役会長（日本自動車工業会会長））

レセプションでは、松阪牛、伊勢えび、伊勢まだい、熊野地鶏、伊賀コシヒカリなど、三重の食材を可能な限り多く取り入れた料理を提供した。



鏡割り



相可高等学校生による料理の提供



赤福茶屋



マクラーレンホンダのF1マシン（展示車）

（2） 展示、実演等

会場エントランスでは、三重の竹や自然素材等によるオブジェを金屏風とともにシンメトリーに配置し、赤福茶屋での試食・呈茶、アイルトン・セナが1991年のチャンピオンシップで乗車したマクラーレンホンダのF1マシン（展示車）とレーシングスーツ、ヘルメットの展示でお迎えした。

ほかにも、「伝統と革新」を体感いただく以下の展示や実演等（主なもの）を行った。

- ・小型旅客機MR Jの1/20の模型の展示
- ・海女漁の道具の展示と現役海女5名による説明
- ・伊賀くみひも、伊勢形紙の伝統工芸士による実演
- ・伊勢神宮の模型展示
- ・NAND型フラッシュメモリ、超低消費電力テクノロジー使用のLSI製品、有機薄膜太陽電池の展示
- ・県立相可高等学校生による「伊勢まだいの鯛茶漬け」と「すき焼き」の提供
- ・三重テラスレストランシェフによる料理（伊勢えびと南紀みかんを使った料理、伊勢茶ティラミスと蓮台寺柿のジャム添え）提供
- ・日本酒（県内の全35蔵の日本酒を試飲）
- ・伊勢茶の提供
- ・ギネスに登録された長さ222mの真珠のネックレスをメインに花やヒノキ等を使って三重に受け継がれる自然の恵み、美しさを表現するオブジェ展示

（3） ケータリングメニュー

- ・プレミアム松阪豚の生ハム ラタトゥイユとポーチドエッグ バルサミコ酢のヴィネグレット
- ・伊勢海老と伊賀コシヒカリの“アロス・カルドソ”
- ・伊勢まだいの塩殻包み焼き フヌイユの香りを添えて
- ・熊野地鶏モモ肉のグリエ 梅肉と山葵風味
- ・伊勢えびのお造り 三重県産あおさ寄せと共に
- ・三重県産さざえのみぞれ和え
- ・伊勢ひじきと花切り大根の胡椒和え
- ・特産松阪牛のローストビーフ 三重県産はなびらたけと温野菜のグラン・メール風
- ・大内山ヨーグルトのクレーム タンジェ フランボワーズのクーリー

9 在外公館における天皇誕生日レセプションでのPR

伊勢志摩サミット開催に向け、三重の魅力を発信するため、在外公館における天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、三重県産品等を展示し、PRを行った。

同行事は、天皇誕生日に近い適当日（例年12月頃）に在外公館において、大使又は総領事が任国・任地の各界関係者を招待し、天皇誕生日を祝賀するものである。

このため、三重県からはG7各国の大使館または総領事が主催するレセプションにおいて、日本酒、伊勢茶、県産菓子の試飲・試食のほか、海産物（わかめ）の提供、伊勢志摩サミットのPRポスター掲示、パンフレット配布、DVD上映等によるPRを行った。各レセプションでは、現地の財政界、文化・学術関係者、マスコミ関係者、日系人団体幹部、日系企業関係者等多くの関係者が参加した。開催を翌年に控えたサミットに向け、三重を知っていただく絶好の機会となった。

【PRを行ったレセプションの一覧】

開催日	開催場所
平成27年11月5日（木）	在イタリア日本国大使館
平成27年11月26日（木）	在ドイツ日本国大使館
平成27年11月30日（月）	在カナダ日本国大使館
平成27年12月7日（月）	在ニューヨーク日本国総領事館
平成27年12月10日（木）	在英国日本国大使館
平成27年12月10日（木）	在アメリカ合衆国日本国大使館
平成27年12月16日（水）	在フランス日本国大使館

10 各国先遣隊歓迎夕食会

来県する各国先遣隊（本国政府の関係者がサミットの準備状況確認のため来県するもの）に対し、三重の食材を生かした料理や酒、伝統芸能等の披露等によるおもてなしで慰労するとともに、三重の魅力を発信し、本国に伝えていただくことを目的に夕食会を開催した。

夕食会では、三重の魅力を英語でプレゼンテーションするとともに、サミットに向けたDVDを上映する等、三重のPRに努めた。

また、松阪牛や伊勢えび等、三重の食材をふんだんに使った料理の提供、三重の地酒による乾杯、伝統芸能の披露等によるアトラクション、華や伝統工芸品等による装飾・展示等、多くの協賛をいただきながら三重の魅力を発信した。

なお、この機会を捉え、サミット開催前後における各国首脳等と県民との交流（「世界との絆づくり」）を実現するための働きかけを行った。

【協賛】

食 材：尾鷲市海面養殖振興協議会、一般財団法人熊野市ふるさと振興公社
 飲 料：アサヒビール株式会社中部統括本部、株式会社伊勢萬、一般財団法人熊野市ふるさと振興公社、
 清水清三郎商店株式会社、国立大学法人三重大学、株式会社宮崎本店、合名会社森喜酒造場、
 尾呂志夢アグリ、尾鷲名水株式会社、有限会社森と水を守る会、
 味の素ゼネラルフーズ株式会社
 華の装飾：真生流いけばな 家元目代 爪橋静華、草月会三重県支部、池坊津支部
 展 示：黒瀬町自治会、めがね工房ごうじ、榎並孝子（人形作家）、
 小林豊子きもの学院近畿本部
 通訳ボランティア：住友電装株式会社、日本トランスシティ株式会社、株式会社百五銀行

【お土産品の提供】

伊勢市、志摩市、鳥羽市、尾鷲市、熊野市、松阪市、公立大学法人三重県立看護大学、
 皇學館大学、国立大学法人三重大学、株式会社稲藤、鳴海製陶株式会社



団長への記念品



アトラクション



懇談の様子

【先遣隊歓迎夕食会 一覧】

月日	国	相手国 参加人数	市町長等	アトラクション	乾杯酒	場所
平成28年2月22日（月）	ドイツ	12名	大口 志摩市長 小山 南伊勢町長 久保 多気町長 亀井 鈴鹿市副市長 尾西 三重大学理事兼副学長	恵利原早餅つき （恵利原早餅つ き保存会）	三重大学 （純米大 吟醸）	賢島宝生苑
平成28年3月9日（水）	欧州連合	8名	大口 志摩市長 竹上 松阪市長	—	宮の雪酒 塊（純米 大吟醸）	志摩観光ホテル ザベイスイート
平成28年3月15日（火）	イタリア	8名	木田 鳥羽市長 大口 志摩市長 河上 熊野市長 久保 多気町長	磯部楽打ち（神 童会）	ラカント 梅酒「豊 穰の海」	ブライムリゾ ート賢島
平成28年4月14日（木）	米国	47名	木田 鳥羽市長 鈴木 伊勢市長 大口 志摩市長	木遣り（伊勢神 宮奉仕会青年 部）	おかげさ ま（大吟 醸）	NEMU HOTEL&RESORT
平成28年4月18日（月）	カナダ	14名	小山 南伊勢町長 藤本 伊勢市副市長 岩田 尾鷲市長	尾鷲節（尾鷲節 保存会）	るみ子の 酒（純米 大吟醸）	ホテル志摩スペ イン村
平成28年4月27日（水）	英国	8名	鈴木 伊勢市長 小山 南伊勢町長 清水 皇學館大学学長 玉田 看護大学学長代理、 理事兼学生部長	雅楽の演奏（皇 學館大学雅楽 部）	おかげさ ま（大吟 醸）	賢島宝生苑
平成28年5月10日（火）	フランス	19名	大口 志摩市長 木下 鳥羽市副市長 亀井 鈴鹿市副市長	鈴鹿墨を使った 書道パフォーマンス （鈴鹿墨進 誠堂）	作（純米 大吟醸 雅 乃智中取 り）	ホテル志摩スペ イン村

※夕食会のホストは、すべて三重県副知事（ドイツ：植田副知事、ドイツ以外：石垣副知事）

サミット裏話・こぼれ話 ～各国先遣隊歓迎夕食会～

サミット前の「下見」のため、2月から5月にかけて、伊勢志摩の地を各国の本国政府関係者等（各国先遣隊）が訪問された際、県民会議主催で歓迎夕食会を開催しました（計7回（6か国とEU））。

開催日時や場所は厳秘でしたが、先遣隊の皆さんにおもてなしをし、三重の魅力を発信するため、様々な団体等の皆様に御協力をお願いしました。

この中で、お花の紹介をします。お迎え花や卓上花について、3つの団体に御協力（協賛）いただきました。

最初に開催した夕食会は、2月22日のドイツ先遣隊。このとき御協力いただいたのは池坊津支部さんです。昨年6月5日のサミット開催決定後いち早く県民会議をご訪問のうえ、協力の申し出をさせていただきました。お声掛けさせていただいたところ、快く引き受けていただき、当日は、とても豪華なお花で会場を彩っていただきました。

アメリカと英国の先遣隊歓迎夕食会でご協力いただいた草月会三重県支部さん。

4月14日のアメリカの夕食会の際には、お迎え花や卓上花に加えて、「桑名の千羽鶴」もご用意いただきました（しかも、G7をイメージして、7羽の連鶴!）。

会場を飾っていただいた素敵なお花はもちろんですが、草月会三重県支部の皆さんのおもてなしの心に、県民会議スタッフはとても感銘を受けました。

実際、夕食会中、アメリカの方々も鶴にとっても興味を持たれ、ご説明したところ、「ホスピタリティが素晴らしい!」と絶賛いただき、ほとんどお持ち帰りになりました。

なお、その後開催した夕食会では、県民会議から直接、「めがね工房ごうじ」さんに協力をお願いして、7羽の連鶴を卓上に置いたところ、大変な好評をいただきました。

最後は、カナダとフランスの夕食会で御協力いただいた真生流さんです。「みえの文化びと」である伊勢市の爪橋静華さんが主宰する真生流さん。

カナダの夕食会では、伊勢神宮を表す「杉」、伊勢市南部の鷲嶺山頂の「ヤマザクラ」、そして坂手島の「カキツバタ」などを使った、とても大がかりな作品を制作いただきました。

制作にあたり、ヤマザクラは3日間、地元の方の大型冷蔵庫を借りて保存され、また、鳥羽市の天然記念物であるカキツバタを使うにあたっては、坂手島をはじめ鳥羽市教育委員会や地元の方々に御協力いただいたそうです。

フランスの夕食会では、志摩市磯部町夏草の「ササユリ」や伊勢市矢持町の「雄松・雌松」などの提供を受けたとのことで、作品を直接手掛けられた方以外にも、本当に多くの皆さんの御協力があつて、先遣隊歓迎夕食会は各国の皆さんに喜んでいただきました。ありがとうございました。



11 国際メディアセンター完成式及び完成記念祝典

平成28年5月22日（日）、国際メディアセンター完成式を外務省及び県民会議の共催で開催するとともに、国際メディアセンターの完成を祝し、伊勢志摩サミットの開催を県内外に発信するための国際メディアセンター完成記念祝典を県民会議主催で開催した。

国際メディアセンター・アネックス1階エントランスで行われた完成式では、菅内閣官房長官、県民会議会長である鈴木知事による挨拶のあと、テープカットが行われた。

引き続き、完成式出席者はアネックス内の政府広報展示スペース、三重情報館を内覧した。

国際メディアセンター・アネックス1階ダイニングで行われた完成記念祝典では、鈴木知事による主催者挨拶、地元の日本酒による鏡開き、菅内閣官房長官による乾杯が行われた。アトラクションとして、伊勢志摩サミット公認サポーターである平井堅氏がサプライズで登場し、サミット応援ソング「TIME」が披露された。

出席者は祝典中、政府広報展示スペース、三重情報館を内覧し、また料理は、サミット時にダイニングを運営する事業者が提供するなど、一足早くサミットの雰囲気を感じることができた。

【国際メディアセンター完成式】

- (1) 日 時 平成28年5月22日（日）11時から11時20分まで
- (2) 場 所 国際メディアセンター・アネックス 1階 エントランス
- (3) 出席者 27名

菅内閣官房長官、鈴木知事、G7各国大使館関係者、県選出国會議員、
関係県議會議員、県内市町長、その他関係企業・団体など

(4) 式次第

主催者あいさつ 菅内閣官房長官
鈴木知事
来賓あいさつ 三ツ矢衆議院議員
テープカット
菅内閣官房長官、鈴木知事、
三ツ矢衆議院議員、吉川参議院議員、
鈴木伊勢市長、蔦田(株)鴻池組社長



テープカット

【国際メディアセンター完成記念祝典】

(1) 日 時 平成28年5月22日(日) 11時45分から12時40分まで

(2) 場 所 国際メディアセンター・アネックス 1階 ダイニング

(3) 出席者 153名

県民会議(会長、副会長、理事等)、菅内閣官房長官、G7各国大使館関係者、国内外報道関係者、県選出国會議員、関係県議會議員、県内市町長、その他関係企業・団体など

(4) 式次第

オープニング 日本太鼓財団による太鼓の披露

主催者あいさつ 県民議會議長(鈴木知事)

鏡開き

県民議會議長(鈴木知事)・副会長(大口志摩市長、中村三重県議會議長、雲井三重県観光連盟会長)、菅内閣官房長官、三ツ矢衆議院議員、中川(康)衆議院議員、吉川参議院議員、三田中部経済連合會會長、平井堅氏

乾杯あいさつ 菅内閣官房長官 ※乾杯酒:おかげさま「大吟醸」

アトラクション 伊勢志摩サミット公認サポーター 平井堅氏による
サミット応援ソング「TIME」の披露

閉会あいさつ 鈴木伊勢市長

(5) 会場装飾

「草月會三重県支部」、「真生流いけばな家元目代 爪橋静華」、「池坊伊勢支部」による華の装飾

(6) 協 賛

株式会社伊勢萬、アサヒビール株式会社、味の素ゼネラルフーズ株式会社、尾鷲名水株式会社、JAグループ三重



鏡開き



平井堅氏による「TIME」の披露

※乾杯に使用した枅(「伊勢志摩サミット2016」と焼印、株式会社伊勢萬協賛)は、ご出席の皆さんに記念にお持ち帰りいただいた。

(7) 料理、飲料メニュー

【料理メニュー】

- ・桑名産ハマグリ(ハマグリ)の塩麴グラタン
- ・みえジビエ鹿肉の香草マリネ ロースト タリアータ仕立て 三重産フルーツソース

- ・特製伊勢えびのピンチョス オランダーズソースとともに
- ・熊野地鶏のフリット ゴルゴンゾーラディップ添え
- ・伊勢まだいの岩塩姿焼き「塩釜仕立て」
- ・松阪牛のロースト シェフのデグバージュ 特製ソース
- ・伊勢うどん
- ・三重の地魚にぎり寿司 各種
- ・新姫ムース

【飲料メニュー】

- ・「おかげさま」大吟醸（株式会社伊勢萬）
- ・焼酎「光年」（株式会社伊勢萬）
- ・リキュール「ステラハーフムーン」（株式会社伊勢萬）
- ・サミットラベル瓶ビール・アサヒスーパードライ（アサヒビール株式会社）
- ・ウィスキー「竹鶴PureMalt」（アサヒビール株式会社）
- ・熊野古道水（尾鷲名水株式会社）
- ・尾鷲海洋深層水（尾鷲名水株式会社）
- ・伊勢茶（アイス）（J Aグループ三重）
- ・コーヒー（ホット・アイス）（味の素ゼネラルフーズ株式会社）
- ・ソフトドリンク（三重県産みかんジュース、三重県産トマトジュース）

12 三重のおもてなしバッグ

伊勢志摩サミットが開催される機会に来県される国内外報道関係者及び各国政府代表団の方へ、県民のおもてなしの心と歓迎の意を表すとともに三重の持つさまざまな魅力を伝えるため、三重県及び伊勢志摩の広報資料セット、県内観光施設・文化施設の入場券、事務用品やお菓子類など全15品目を組み合わせた「三重のおもてなしバッグ」を編成し、配布した。なお、三重県及び伊勢志摩の広報資料セット及び三重県・鳥羽市提供の物品以外の物品等については、すべて企業及び団体から協賛いただいたものである。

バッグの配布にあたっては、国内外報道関係者へは国際メディアセンターにおいて政府の「サミットバッグ」とともに配布し、各国政府代表団へは、指定された場所へ送付する形で配布した。

（1） 配布数

約3,600セット

(2) 三重のおもてなしバッグの内容



『ウエルカムメッセージ』



(1) 三重県及び伊勢志摩の広報資料セット

『県内観光施設・文化施設の入場券』



- (2) 鈴鹿サーキット
[株式会社モビリティランド協賛]
- (3) 伊勢・安土桃山文化村
[株式会社伊勢・安土桃山文化村協賛]
- (4) 鳥羽水族館
[株式会社鳥羽水族館協賛]
- (5) 伊賀流忍者博物館
[一般社団法人伊賀上野観光協会協賛]
- (6) 三重県総合博物館、斎宮歴史博物館、三重県立美術館
[三重県提供]

『地元自治体提供品』



- (7) 海女の魔除け印ハンカチ
[鳥羽市提供]

『事務用品等』



- (8) uni-ball Signo 307
[三菱鉛筆株式会社／第一工業製薬株式会社協賛]
- (9) ポストイット 強粘着モバイルメモ
[スリーエム ジャパン株式会社協賛]
- (10) アエルマスク
[亀山製絲株式会社協賛]
- (11) G2TAMコインおしぼり
[株式会社ピーキューテクノ協賛]

『飲食物等』



- (12) ベビースターラーメン
[株式会社おやつカンパニー協賛]
- (13) おにぎりせんべい
[株式会社マスヤ協賛]
- (14) 〈煎〉レギュラー・コーヒー
[味の素ゼネラルフーズ株式会社協賛]

『その他』



- (15) 三重交通バス全線無料乗車証
[三重交通株式会社協賛]

(3) サミットバッグ

国は、これまでのサミットの慣例にならい、伊勢志摩サミットで現地に来訪するG7各国代表団及びプレス関係者に対して、記念品としてサミットバッグを製作し、配布した。

サミットバッグは、日本のカバンメーカーにより日本で作成されたもので、ファスナーの取手部分には三重県の伝統工芸品「伊賀くみひも」が取り付けられ、日本の文化を紹介する伝統工芸品やその場で使える文房具等の実用品等、十数点が採用された。

【サミットバッグ内容物一覧】

- ・「Discover the Spirit of Japan」(DVD)
- ・「We are TOMODACHI」(政府公式海外広報誌)
- ・「ABENOMICS IS PROGRESSING」(パンフレット)
- ・フリクションペン
- ・文房具一式
- ・東京2020公式クリアファイル
- ・ラグビーW杯2019公式ピンバッジ
- ・日本酒(三重県産の日本酒 銘柄は数種類ある)
- ・お猪口(常滑焼、萬古焼、瀬戸焼、美濃焼の組合せ2個セット)
- ・歌舞伎フェイスパック
- ・熊野筆チークブラシ
- ・将棋の駒ストラップ
- ・リンゴ型タオル
- ・お菓子各種



サミットバッグ (写真: 外務省提供)

13 識別証、車両証の発行

サミット開催前後を含む一定期間、賢島島内及び国際メディアセンターは入域規制が行われ、住民の方々や行政の関係職員、関係事業者には、外務省から識別証(IDカード)が発行された。同様に規制区域への車両の入域については、車両証が発行された。

県民会議では県関係者の識別証のとりまとめ及び配付を行った。



車両証とIDカード

14 NGOへの対応

(1) NGOの活動状況

日本のNGOは、国際政治、経済、途上国の開発や環境など多くの課題について連携しており、日本政府やG7諸国政府等との対話や政策提言を目的として、平成27年11月26日に「2016年G7サミット市民社会プラットフォーム」(63団体)を設立し、各国首脳の個人代表(シェルパ)への政策提言や外務省との協議を重ねた。

東海地域では、G7伊勢志摩サミットの開催を契機に、愛知・岐阜・三重のNGO/NPOのネットワークによって「市民サミット」を開催し、市民社会の政策提言力の向上を図ることを目的として、平成27年12月に東海「市民サミット」ネットワーク(39団体)が発足した。

東海「市民サミット」ネットワークと「2016年G7サミット市民社会プラットフォーム」は共催により、サミット直前の平成28年5月23日(月)、24日(火)の2日間に、「市民の伊勢志摩サミット」(略称:市民サミット)を開催した。

市民サミットでは、市民地域課題や国際的な課題を16の分科会で議論し提言書を作成し、全体会で採択された市民宣言は、5月25日(水)に国際メディアセンターにおいて、国内外のメディアを通じて世界へ発信された。

また、平成28年3月22日(火)、23日(水)には京都市内において日本を含むアジアやアフリカなど約20ヵ国からNGO関係者100名が集い、保健や気候変動、人権など8テーマを議論し、16項目にまとめた政策提言を伊勢志摩サミットに集う各国首脳の個人代表(シェルパ)に示す「G7市民社会対話」が開かれた。

(2) NGOワーキングスペースの設置

外務省は、近年の国際社会におけるNGOが果たす役割の重要性を踏まえ、伊勢市内に設けられた国際メディアセンターに隣接する伊勢フットボールビレッジのクラブハウス2階にNGOワーキングスペースを設けた。NGOワーキングスペースには、国内外のNGO代表(約101名、8ヵ国56団体)がアクセスを認められIDカードが発給された。

なお、NGO関係者の選定にあたっては、「2016年G7サミット市民社会プラットフォーム」を通じて国内外の主要なNGOに募集を行い、同フォーラムの意見及び関係省庁などとの協議を踏まえ決定された。NGOワーキングスペースへのアクセスを認めるNGO関係者に対しては、記者ブリーフィングのモニタリングを認め、作業室やブリーフィングなどのためのスペースを提供した。さらに、報道関係者用シャトルバスの使用や食事の提供などについても報道関係者に準じた便宜が図られた。

(3) NGOに対する対応

近年、NGOが政治、貧困、環境などの問題に取り組む中で、サミットの開催に合わせて様々な活動を通じて提言を行う機会が増えていることをふまえ、伊勢志摩サミットにおいても政策提言についてのシンポジウム、フォーラム、デモ等を行うため国内外から多くの団体が来県することが予想された。

そのため、北海道洞爺湖サミットでは実績のあったNGOへの宿营地や集会場所の提供について、県内数

十ヶ所の公営施設の視察及び管理者との調整を行ったが、今回のサミットにおいてはNGOからの支援要請はなかった。

(4) NGOの活動結果

①三重県内における市民サミット開催

活動内容：「市民の伊勢志摩サミット」

開催日時：平成28年5月23日（月）、5月24日（火）

場 所：じばさん三重（四日市市）

参加者数：2日間で国内外のNGO/NPOスタッフを含め延べ約500名

開催概要：国内外の市民団体にて「アフリカ」「食料安全保障」「災害」「環境」「平和」「持続可能な開発目標（SDGs）」「移民・難民・多文化共生」など16のテーマについて分科会を設け議論・意見交換を実施し、先進国の首脳に訴える政策提言及び市民宣言を取りまとめた。

②三重県、愛知県での主なサミット関連の集会、デモ行進

日 時：5月21日（土）午後

場 所：名古屋市中区

参加者数：約80名

日 時：5月25日（水）午前

場 所：志摩市 志摩磯部駅周辺

参加者数：約20名

日 時：5月26日（木）午後

場 所：津市 津市勤労者福祉センターから津駅

参加者数：約100名

日 時：5月27日（金）午前

場 所：志摩市 木場公園から鵜方駅

参加者数：約70名



5月25日のデモの様子



5月26日のデモの様子

15 G7首脳等に対する歓迎行事等

(1) ホテルにおける首脳歓迎

平成28年5月25日（水）夜及び26日（木）朝に志摩観光ホテルに順次到着したG7首脳8名に対し、石垣副知事及び大口志摩市長が、内閣官房副長官等とともに出迎えを行った。首脳が出発する際の見送り行事は行われなかった。

なお、首脳が到着する中部国際空港は愛知県にあるため、三重県は空港での出迎えは実施できなかった。

【出迎えを行った首脳】（到着順）

5月25日（水）夜 キャメロン英首相、トゥスク欧州理事会議長、安倍総理、ユンカー欧州委員会委員長
オバマ米大統領

5月26日（木）朝 レンツィ伊首相、メルケル独首相、トルドー加首相

(2) 伊勢神宮における首脳歓迎

5月26日（木）朝、伊勢神宮内宮参集殿に順次到着したG7首脳9名に対し、鈴木知事及び鈴木伊勢市長が、岸田外務大臣等とともに出迎えた。



オバマ米大統領を出迎える鈴木知事

(3) アウトリーチ国首脳及び国際機関代表の歓迎

アウトリーチ国首脳及び国際機関代表は主に愛知県に宿泊したため、三重県での歓迎行事は実施しなかったが、5月26日（木）夜、名古屋観光ホテルにおいて、愛知・名古屋に滞在されるアウトリーチ国首脳及び国際機関代表を招待した「愛知・名古屋歓迎レセプション」が、愛知・名古屋サミットおもてなし委員会主催で開催されたため、石垣副知事が出席し交流を行った。

16 G7首脳等による芳名帳

G7首脳等が伊勢志摩サミットで三重県を訪れた記念に、芳名帳へサインいただくよう外務省を通じて依頼した結果、下記的首脳等からサインをいただいた。

【G7】

安倍総理、オバマ米大統領、オランダ仏大統領、キャメロン英首相、メルケル独首相、
レンツィ伊首相、トルドー加首相、トゥスク欧州理事会議長、ユンカー欧州委員会委員長

【アウトリーチ国】

フック首相（ベトナム）、シリセーナ大統領（スリランカ）、シースリット首相（ラオス）、
オニール首相（パプアニューギニア）

【国際機関】

キム総裁（世界銀行）、グリア事務総長（経済協力開発機構）、ラガルド専務理事（国際通貨基金）、
中尾総裁（アジア開発銀行）、潘事務総長（国際連合）

17 G7首脳による記念植樹

平成28年5月26日（木）、伊勢神宮内宮参集殿に順次到着したG7首脳9名（安倍総理、オバマ米大統領、オランダ仏大統領、メルケル独首相、キャメロン英首相、レンツィ伊首相、トルドー加首相、トゥスク欧州理事会議長、ユンカー欧州委員会委員長）を、鈴木知事、鈴木伊勢市長が岸田外務大臣等とともに出迎えた後、神苑前においてG7首脳と鈴木知事の10名で記念植樹を行った。

植樹した木は三重県の木「神宮スギ」3本で、知事の英語での合図により木に土を被せた。スコップを渡したり受け取ったりする手伝いを、南勢志摩地域（伊勢市、志摩市、鳥羽市、南伊勢町、大紀町、玉城町、度会町）の小学生20人が行った。

なお、記念植樹は、伊勢志摩サミット開催記念及び開催地としてのシンボルとするため、平成27年10月9日（金）、県から外務省に提案していたものである。



記念植樹を行うG7首脳及び知事

木は、植樹後、5月29日（日）19時の内宮参拝時間終了まで、多くの方々に見ていただいた後、広く県民の皆さんの目に触れる場所に定植することを前提に生育環境のよい場所に移した。

サミット裏話・こぼれ話 ～首脳記念植樹でお手伝いをした小学生～

伊勢神宮で行われた首脳記念植樹で、スコップを渡したり受け取ったりした小学生は、南勢志摩地域の7市町（伊勢市、志摩市、鳥羽市、南伊勢町、大紀町、玉城町、度会町）の小学生20人でした。

当日は9時10分に神宮司廳に集合し、現地でリハーサル。その後、参集殿横で待機して、11時過ぎから本番！無事、大役を果たしてくれました。

記念植樹後には、鈴木知事と少しトーク。G7首脳が神宮を出られるまで、参集殿2階で待機していたのですが、緊張で疲れ果て、言葉も出なくなってしまう様子も印象的でした・・・

日本の子どもの代表として頑張ってくれた20人の小学生の皆さんの心に、G7首脳と触れ合ったこの日のことは、深く刻まれたことと思います。

本当に、お疲れ様でした！

〔G7首脳による記念植樹の写真：外務省提供〕

18 贈呈品

各国首脳等に歓迎の意を表し、三重県への訪問を長く記憶に留めていただくため、三重県ゆかりの品をウエルカムメッセージとともに、外務省を通じて贈呈した。

ギフトの選定に際しては、コンセプトに基づいた候補品を取りまとめ、県民会議の副会長による書面審査のうえ、会長が最終決定した。

【コンセプト】

- ・「三重県ゆかり」の品であること
- ・各国首脳や配偶者の身近に置いていただけるもの（使用するもの、飾るもの）であること

（1）カップ&ソーサー（ペア）

世界に誇るボーンチャイナ素材にサミット会場である賢島と訪問先である伊勢神宮をジャパンプルー（藍色）でハンドペイントして制作した。

【制作】三重ナルミ株式会社（志摩市）

【贈呈先】G7首脳（9名）

【ラッピング】

- ・木箱（三重県産杉材） 制作：松阪飯南森林組合（松阪市）
- ・飾り紐（伊賀くみひも） 制作：松島組紐店（伊賀市）
- ・中袋（伊勢木綿）

制作：〔加工〕三重ナルミ株式会社、
株式会社SUNKI Branding（伊勢市）

〔素材〕臼井織布株式会社（津市）

- ・風呂敷（松阪木綿）
制作：〔加工〕松阪もめん手織りセンター（松阪市）
〔素材〕御絲織物株式会社（明和町）



カップ&ソーサー



木箱（三重県産杉材）



中袋（伊勢木綿）



ソーサーの裏印



風呂敷（松阪木綿）

（2） 文箱&ボールペン

文箱は、三重県産の檜と杉を使い、伝統技術である組子で「輪継ぎ（わつなぎ）」という吉祥文様により制作し、三重県で真珠養殖を世界で初めて成功したこともアピールするため、真珠付きのボールペンとともに贈った。

【制作】

- ・文箱：指勘建具工芸（菰野町）
- ・ボールペン：ミキモトインターナショナル（東京）

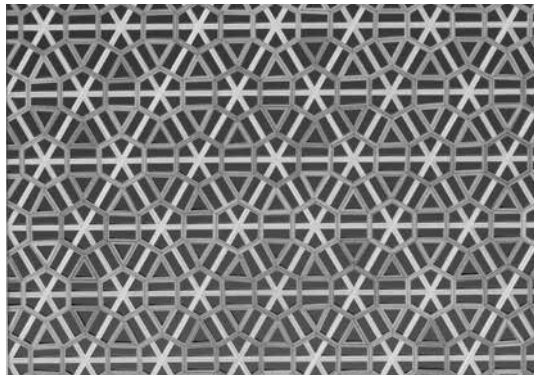
【贈呈先】 アウトリーチ国首脳（7名）、国際機関の長（5名） 合計12名

【ラッピング】

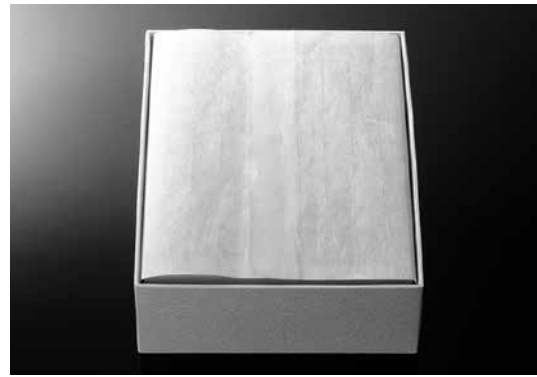
- ・包み紙（伊勢紙）
制作：〔加工〕 ミフジ株式会社（津市）
〔素材〕 大豊和紙工業株式会社（伊勢市）
- ・飾り紐（伊賀くみひも）
制作：松島組紐店（伊賀市）
- ・風呂敷（伊勢木綿）
制作：臼井織布株式会社（津市）



文箱&ボールペン



組子 (輪継ぎ)



包み紙 (伊勢紙)

(3) ウェルカムメッセージ

知事メッセージを伊勢神宮と賢島（会議場）の写真とともに、伊勢形紙文様を施した尾鷲ヒノキ（FSC認証材）のフレームに入れて、贈呈品とともに贈った。

- ・フレーム（尾鷲ヒノキ（FSC認証材））制作：ウッドメイクキタムラ（紀北町）
- ・メッセージ（伊勢紙） 素材：大豊和紙工業株式会社（伊勢市）
提供：株式会社小津商店（東京都）
- ・写真 撮影：〔伊勢神宮〕増浦行仁氏、〔賢島〕志摩観光ホテル
- ・伊勢形紙 制作：伊勢形紙協同組合

※文様をレーザー彫刻 「三重の四彩」

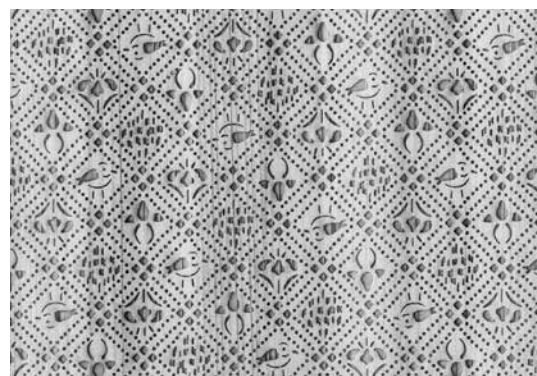
＝三重県の三本線に三重の木（神宮スギ）、花（ハナショウブ）、鳥（シロチドリ）、
獣（カモシカ）を文様化。



内面



外面



伊勢形紙文様 (三重の四彩)

(4) 各国首脳からの贈呈品

サミットに参加した米国、フランス、アウトリーチ国のインドネシア、スリランカの首脳から、三重県知事に贈呈品が贈られた。

- ・コアウッドの置時計（米国 オバマ大統領）
- ・銀のトレイ（フランス オランダ大統領）
- ・民芸品の布地（インドネシア ジョコ大統領）
- ・象の置物（スリランカ シリセーナ大統領）



コアウッドの置時計



銀のトレイ



民芸品の布地



象の置物

19 各国首脳等と県民との交流 ～「世界との絆づくり」～

地域の国際化や情報発信の促進、学生や子ども達のサミットへの参加意識の高揚、各国と地域の一層の関係強化につなげるため、伊勢志摩サミット開催中に来県される各国首脳等に県内市町や大学を訪問していただき、姉妹都市関係、大学間協定をはじめとする歴史、文化、教育、産業等のつながりを踏まえた県民との交流「世界との絆づくり」を実施した。

実施にあたっては、各地に潜在する各国等との絆を新たな交流につなげたり、既存の交流を拡大する契機とするため、県内の全市町と大学に交流プログラム案を募集した。

G7やアウトリーチ国・機関との交流希望は、11市町26件、3校4件、県2件合計32件の提案があった。

提案のとりまとめ後は、鈴木知事による各国大使に対する働きかけをはじめ、様々な機会を活用して各国関係者に働きかけるとともに、交流実現の可能性のある国には、提案首長が大使館を訪問し交流実現に向けた働きかけを実施した。また、G7各国の先遣隊歓迎夕食会では、提案市町長・大学長等にも出席いただき、G7各国との交流のほか、各市町の自慢の食材や地域、大学紹介をはじめとする提案市町と大学に関する幅広い情報が提供された。

近年のサミット日程の短縮や空港が愛知県にあること、警備環境の強化など交流実現に向けた課題が多くあったが、こうした取組の結果、ベトナムのフック首相の伊勢神宮訪問、ベトナム閣僚の松阪市訪問、英国首相同行プレスの皇學館大学訪問による県民との交流が実現した。

また、グリア経済協力開発機構事務総長の伊勢神宮訪問や、ラガルド国際通貨基金専務理事のミキモト真珠島訪問も実現した。

(1) ベトナム

平成28年4月に首相に就任したフック首相は、首相として初来県になる機会に伊勢神宮を訪問し、県民との交流を行った。フック首相及び閣僚等は伊勢神宮宇治橋前で鈴木知事や県民の出迎えを受けた後、正宮を訪れた。

また、松阪市とホイアン市は観光交流協定を締結していることから、ズン政府官房長官をはじめとする閣僚が、松阪市の松阪もめん手織りセンターなどを訪問し、小学生の和太鼓演奏による出迎えや松阪木綿機織り体験、松阪木綿の着物体験など県民との交流を行った。

【伊勢神宮】

日 時	平成28年5月27日(金) 16時50分から18時まで
場 所	伊勢神宮(内宮)
概 要	伊勢神宮訪問、記念撮影、会談
参加者	フック首相、閣僚5名他随行者、三ツ矢衆議院議員、鈴木知事、廣田雇用経済部長、小野三重県・ベトナム友好協会会長、県民の皆さん約30名

【松阪市】

日 時	平成28年5月27日(金) 9時10分から11時15分まで
場 所	松阪もめん手織りセンター、旧長谷川邸 他
概 要	小学生の和太鼓演奏による出迎え、松阪木綿機織り体験、松阪木綿の着物体験、茶席体験、松阪牛昼食 等
参加者	ズン政府官房長官、アイン商工大臣、クオン駐日ベトナム大使、フン首相補佐官、ミン外務大臣補佐官他随行者12名、石垣副知事、竹上松阪市長、小林同副市長、山路同副市長、東同教育長、大平松阪市議会議長、川口同副議長、谷川松阪商工会議所会頭兼松阪国際交流協会会長、松阪市立第一小学校5、6年生他 合計約100名



フック首相の伊勢神宮訪問



ベトナム閣僚の松阪市訪問

(2) 英国

英国のケント大学と皇學館大学は大学間協定を締結していることから、首脳等との交流の働きかけを実施してきた。その想いが伝わり首脳同行プレスが同大学を訪問し雅楽部学生との交流が実現した。

【皇學館大学】

日 時	平成28年5月26日(木) 12時45分から13時15分まで
場 所	皇學館大学 祭礼教室
概 要	雅楽部学生による演奏や舞の披露を通じた交流
参加者	英国首相同行プレス19名、大橋県民会議事務局長、雅楽部学生55名、教職員20名



英国首脳同行プレスの皇學館大学訪問

(3) アウトリーチ機関

アウトリーチ拡大大会に出席したグリアOECD事務総長が伊勢神宮を、ラガルドIMF専務理事がミキモト真珠島を訪問した。

①経済協力開発機構（OECD）

日 時	平成28年5月27日(金) 14時45分から15時50分まで
場 所	伊勢神宮(内宮)
概 要	伊勢神宮訪問
参加者	グリア事務総長他5名、石垣副知事

②国際通貨基金（IMF）

日 時	平成28年5月27日（金）15時20分から16時15分まで
場 所	ミキモト真珠島
概 要	真珠博物館見学、真珠取り出し体験、御木本幸吉像前で海女と記念撮影 等
参加者	ラガルド専務理事他4名、大橋県民会議事務局長、木下鳥羽市副市長、海女



グリア事務総長の伊勢神宮訪問



ラガルド専務理事のミキモト真珠島訪問

第3章 おもてなし

1 伊勢志摩サミットフォーラム

県民の皆さんとともに、サミットが開催されることの意義や美しい自然、豊かな文化に恵まれた伊勢志摩の魅力への理解を深め、サミット開催に向けた県民総参加の取組について考えるため、平成27年9月から平成28年4月までに、3回の伊勢志摩サミットフォーラムを開催した。

(1) 第1回伊勢志摩サミットフォーラム

日時：平成27年9月5日（土）14時から16時15分まで

会場：志摩市磯部生涯学習センター 多目的ホール

内容：

○あいさつ

鈴木知事、大口志摩市長

○ビデオメッセージ

安倍総理

○講演

滝崎成樹氏（外務省大臣官房伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局長）

「伊勢志摩サミットに期待すること」

○トークセッション

テーマ「サミット開催地から学ぶ、伊勢志摩の魅力とその発信、県民総参加への取組」

スピーカー

・山谷吉宏氏（北海道副知事）

・ロビン・ハーディング氏（フィナンシャルタイムズ東京支局長）

・江崎貴久氏（海島遊民くらぶ代表）

・鈴木知事

フォーラムには約300人が参加し、講演者、スピーカーからは、サミットの仕組みやサミット開催による地域への効果・影響についての解説や提言があった。



滝崎氏講演



トークセッション

(2) 第2回伊勢志摩サミットフォーラム

日時：平成28年1月16日（土）13時から15時45分まで

会場：鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 講堂

内容：

○あいさつ

鈴木知事、末松鈴鹿市長

○講演

中村好明氏（株式会社ジャパンインバウンドソリューションズ代表取締役社長）

「伊勢志摩サミットのレガシーを生み出す“おもてなし”戦略とは」

○トークセッション

テーマ「おもてなし、食を中心とした情報発信、サミットのレガシー（遺産）」

スピーカー

- ・山田文比古氏（東京外国語大学教授（元沖縄県サミット推進事務局長））
- ・ラース・ニコライゼン氏（ドイツ通信社東京支局長）
- ・清水慎一郎氏（清水清三郎商店株式会社代表取締役）
- ・森川徹氏（外務省大臣官房報道課長）
- ・中村好明氏（株式会社ジャパンインバウンドソリューションズ代表取締役社長）

フォーラムには約600人が参加し、講演者、スピーカーからは、実例も交えて、サミット開催後を見据えた三重県のおもてなしのあり方や効果的な情報発信、サミットのレガシーについての提言があった。



中村氏講演



トークセッション

(3) 第3回伊勢志摩サミットフォーラム

日時：平成28年4月16日（土）13時から16時15分まで

会場：三重県総合文化センター 中ホール

内容：

○あいさつ

鈴木知事、前葉津市長

○講演

溝渕将史氏（外務省大臣官房伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局総括次長）

「伊勢志摩サミットの最新情報」

デービッド・アトキンソン氏（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）

「英国人アナリスト、三重の未来を語る」

○トークセッション

テーマ「世界とつながる、三重の未来」

スピーカー

- ・高野秀行氏（ノンフィクション作家）
- ・田中里沙氏（事業構想大学院大学学長／株式会社宣伝会議取締役副社長兼編集室長）
- ・寺岡夕里氏（東北大学大学院生（2009年ジュニア8サミット日本代表））
- ・デービッド・アトキンソン氏（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）

コーディネーター

- ・鈴木知事

○クロストーク

- ・平井堅氏（伊勢志摩サミット公認サポーター）
- ・鈴木知事

フォーラムには約650人が参加し、講演者、スピーカーからは、伊勢志摩サミットの最新情報、インバウンド産業の重要性、世界とつながる面白さなどについて解説や提言があった。また、伊勢志摩サミット公認サポーターの平井堅氏による応援ソングのタイトル発表とデモ音源の公開があった。



トークセッション



平井堅氏と知事とのクロストーク

2 おもてなし大作戦

サミット開催にあたって三重県を訪れる方々に歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民の皆さんが来訪者歓迎に関わることにより、サミットに向けた機運醸成や参加意識の向上を図るため、県民参加型の「おもてなし大作戦」を実施した。

「おもてなし大作戦」は、「クリーンアップ作戦」と「花いっぱい作戦」の2つの取組で構成し、両取組を連携させて展開することで、おもてなしに向けた県民運動の一体感を醸成するとともに、運動の訴求力と発信力の向上を図った。

(1) 伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」キックオフイベント

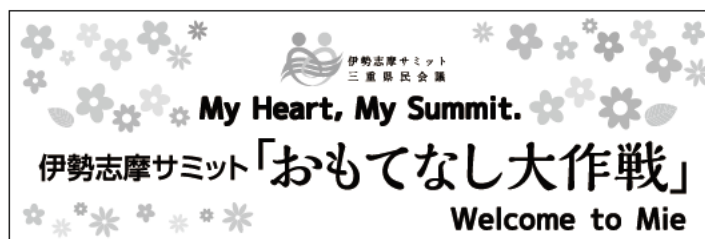
サミット開催に向けて県民一人ひとりの皆さんに、おもてなしの心を持って全県的に取り組んでいくことをPRするとともに、サミットに向けた機運の醸成や一体感の構築を図るため、平成28年2月14日（日）に阿児ふるさと公園芝生広場において伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」キックオフイベントを開催した。直前まで雨が降り続ける中、多くの関係者の思いが実り、奇跡的にイベント開催時間のみ雨が止み、県民、団体、企業関係者ら約700名が参加した。



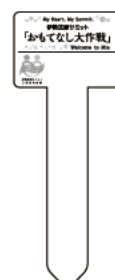
「おもてなし大作戦」キックオフイベント（H28.2.14）

【統一デザインによる一体感づくり】

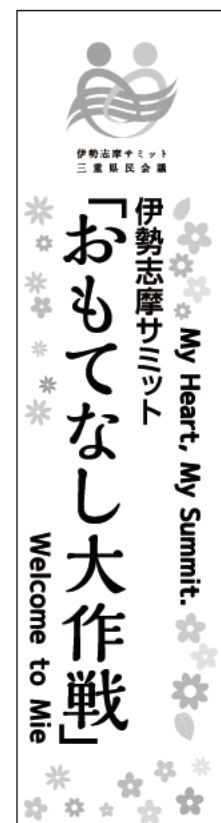
「おもてなし大作戦」の統一デザインを作成し、横断幕、のぼり、ガーデンピック（プレート）などに活用することで、「クリーンアップ作戦」と「花いっぱい作戦」の視覚的統一感を図り、県民参加型運動としての盛り上げを図った。



（左）横断幕（W1800×H600）、（右）のぼり（W450×H1800）



（左）ガーデンピック中型（W300×H220）、（右）同小型（W105×H274）



(2) クリーンアップ作戦

伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」キックオフイベントを開催した2月14日（日）からサミット開催直前の5月下旬までの間、各市町や自治会をはじめ、企業、団体等による全県的なクリーンアップ作戦の展開を図った。



県営サンアリーナ周辺でのクリーンアップ作戦（H28.5.7）

①市町における展開

三重県自治会連合会と市町との連携等により、100日前ウィーク周辺の2月9日（火）から2月23日（火）には、延べ15市町においてクリーンアップ作戦が実施された。

また、5月下旬までの間、県内各地でクリーンアップ作戦が実施され、合わせて6万人以上の方に参加いただいた。

※各市町における実施状況はP 325のとおり

②企業、団体等における展開

企業、団体等へ協賛、応援事業としての参加の呼びかけを行うことにより、クリーンアップ活動を実施していただくとともに、資材・物品等での提供等で協力をいただいた。

※協賛、応援事業の実施状況はP 326のとおり



松阪市松名瀬干潟でのクリーンアップ作戦（H28.5.14）

③東海三県一市との連携事業

東海三県一市（愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市）が平成24年4月に設置した「伊勢湾総合対策協議会・海岸漂着物対策検討会」の取組と連携し、三重県では、伊勢湾流域圏の環境活動団体に呼びかけ、「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を実施している。

サミット開催への機運醸成を図るため、サミット開催50日前ウィークに合わせ、東海三県一市で環境活動団体に清掃活動実施の呼びかけを行い、平成28年4月2日（土）から10日（日）の取組期間中に、計10団体（三重県8団体、愛知県1団体、岐阜県1団体）、1,487人の方に参加いただいた。

※主な実施団体・場所はP 327のとおり



愛知県南知多町師崎海岸でのクリーンアップ作戦（H28.4.6）

(3) 花いっぱい作戦

各種団体（NPO、ボランティア、サークル等）、個人、学校、市町、自治会、生産者、企業等多様な主体の活動を「花いっぱい作戦」として集約することで、4月から5月下旬までの開花・飾花をめざして活動を行った。

サミット開催前の50日前ウィーク前後に「花いっぱい作戦」のアクションスタートとして、スタートセレモニーを実施するとともに、県内10カ所で花の寄せ植え体験講座を開催し、幅広い層のサミットへの歓迎機運及び参加意識の向上を図った。

また、「おもてなし大作戦」の統一デザインを活用したガーデンピック（プレート）を市町や小中学校、県民会議会員へ配布し、花いっぱい作戦への参画促進を図った。

①伊勢志摩サミット「花いっぱい作戦」スタートセレモニー

鈴木知事、伊藤桑名市長、北勢地域市町代表、県立四日市農芸高等学校生徒をはじめ、県民の皆さんや企業、団体など約300名が集結してスタート宣言を行った。

日時：平成28年4月2日（土）14時から15時30分まで（サミット開催50日前ウィーク）

会場：桑名市総合福祉会館 大会議室



「花いっぱい作戦」スタートセレモニー

②伊勢志摩サミット「花いっぱい作戦」寄せ植え体験講座

各県庁舎10カ所で1日2回実施し、各会場とも定員を上回る1,664名の方から応募があり、抽選により1,000名の方にご参加いただいた。

4月2日（土）伊勢（120名）、伊賀（100名）

4月3日（日）桑名（80名）、志摩（120名）、熊野（60名）

4月9日（土）四日市（100名）、鈴鹿（120名）

4月10日（日）津（120名）、松阪（120名）、尾鷲（60名）



寄せ植え体験講座（伊賀市）

③スタートセレモニー以降の展開

スタートセレモニーからサミット開催直前の5月下旬までの間、各市町、企業、団体等による全県的な花いっぱい作戦の展開を図った。

ア 市町における展開

市町には、庁舎や公園、花壇等関係施設への飾花を行うなど花いっぱい作戦を推進するとともに、地域における団体の活動の集約等により、花いっぱい運動の支援等で協力をいただいた。

5月下旬までの間、県内各地で花いっぱい作戦が実施され、合わせて11万本以上の美しい花々が県内全域で飾られた。

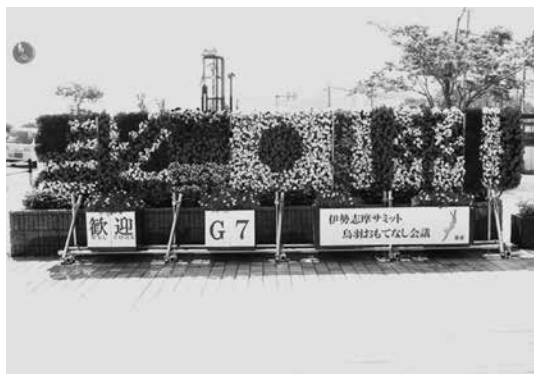
※各市町における実施状況はP 327のとおり

イ 企業、団体等における展開

企業、団体等には、協賛、応援事業の枠組みを活用する等、花を植える活動や飾る活動、物品の提供等で協力をいただいた。

また、応援事業としても、例えばホームセンター等の店舗内に「伊勢志摩サミット開催記念」花いっぱいコーナーを設置していただくことで、個人レベルでの参画を図るなどの協力をいただいた。

※協賛、応援事業の実施状況はP 328のとおり



鳥羽駅周辺での花いっぱい作戦



鬼ヶ城センター（熊野市）での花いっぱい作戦

3 カウントダウンボード、ノベルティを活用したPR

(1) カウントダウンボード

サミット開催の周知及び期待感を高めるため、県内主要駅、県庁、各市町等にサミット開催までの残日数を示すカウントダウンボードを設置した。

サミット開催まで200日前となる平成27年11月4日（水）に、県庁へカウントダウンボードを設置し、除幕式を実施した。また、民間企業等の皆さんのご協力により、県内各所に様々なカウントダウンボードを設置した。

伊勢志摩でのサミット開催を全国の方々に広く情報発信するため、平成27年12月には近鉄名古屋駅、近鉄京都駅、近鉄大阪難波駅に設置するとともに、平成28年1月には外務省、内閣府、2月にはJR東京駅に設置するなど県外への設置に取り組んだ。

また、1月には保健大臣会合の開催地である神戸市にカウントダウンボードを設置して連携を図るとともに、5月には国内外のメディアが訪れる国際メディアセンターにも設置して歓迎機運を盛り上げた。

カウントダウンボードを設置して歓迎機運を盛り上げる取組は県内外に波及して、サミット開催までに、県民会議、民間企業等によるカウントダウンボードの設置台数は、総数544台となった。

【カウントダウンボード設置場所と台数】

○県民会議による設置

- ・各鉄道駅（JR東京駅、近鉄大阪難波・京都・名古屋、県内主要駅など） 15台
- ・外務省、内閣官房、国際メディアセンター、県内市町、職員派遣元企業、県関係機関など 77台
- ・その他（伊勢神宮など） 13台

○協賛、応援事業による設置

- ・企業、団体による制作・設置 439台
- 計 544台



近鉄京都駅



国際メディアセンター



卓上式カウントダウンボード

【県庁カウントダウンボード除幕式】

日 時：平成27年11月4日（水）8時30分から

場 所：三重県庁 正面玄関

出席者：鈴木知事

大口志摩市長

中村三重県議会議長

雲井三重県観光連盟会長

藤本三重県商工会議所連合会専務理事

【外務省カウントダウンボード除幕式】

日 時：平成28年1月8日（金）16時から

場 所：外務省 中央庁舎7階

出席者：山田外務省大臣政務官

金杉外務省経済局長

滝崎伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局長

鈴木知事

西城伊勢志摩サミット三重県民会議事務総長

真伏三重県東京事務所長

主 催：外務省伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局

伊勢志摩サミット三重県民会議

協 賛：三重県森林組合連合会



県庁カウントダウンボード除幕式



外務省カウントダウンボード除幕式

サミット裏話・こぼれ話 ～北海道から受け継いだ紅白の紐～

平成28年1月8日に外務省で、伊勢志摩サミットカウントダウンボードの除幕式が行われました。この時使われた紅白の紐、実は北海道から受け継いだものなのです！

2008年北海道洞爺湖サミットの際に、洞爺湖町に設置されたカウントダウンボード、こちらの除幕式を担当されたのは北海道庁の職員の方でした。時間がない中、除幕式に使用する紅白の紐は前夜にご夫人が手作りされました。

平成27年9月に開催した伊勢志摩サミットフォーラムの縁があって、北海道の山谷吉宏副知事を鳥羽市の江崎貴久さん（海島遊民くらぶ代表）が11月に訪問し、紅白の紐を預かりました。さらに江崎さんから伊勢志摩サミット三重県民会議へと託され、紅白の紐は、伊勢志摩サミットのカウントダウンボード除幕式へと繋がっていきました。

次の8年後、紅白の紐はどこに受け継がれるでしょうか。

(2) ノベルティ

広く県民の皆さんに対して伊勢志摩サミットの開催を周知するとともに、県外の方にも開催地である三重県を幅広く周知することを目的として、多様な対象者や使用場面に応じた各種PRツールを作成し、県内外における節目イベントや各種会議等において配布した。

<種類および作成個数>

- ポストカード（日本語・英語・フランス語・イタリア語） 120,000枚
- ウェットティッシュ 19,000個
- クリアファイル（2種類） 37,000枚
- ポチ袋 600枚
- 手提げ袋（紙製） 4,000枚
- ビニールバッグ 10,000枚
- 風船 2,000個
- ICカードステッカー 4,500枚
- みえックスキャンディ 2,000個
- 伊勢志摩サミットWAON 10,000枚
- ご当地キャラクターシール 5,000枚



作成したノベルティ（一部）



イベントでのノベルティ配布

4 おもてなし向上研修

国際観光地としての三重県のレベルアップを図るため、世界各国からの訪問者に満足いただけるおもてなしを行えるよう、外国人に対する接遇等の方法を学ぶ研修を実施した。

(1) 訪日外国人おもてなし研修

受講対象：生活衛生関係営業施設の営業者（飲食店、旅館業等）

第1回 日 時：平成28年2月2日（火）13時30分から16時まで

場 所：三重県伊勢庁舎

テーマ：外国からのお客様に喜ばれるおもてなし

参加者：75名

第2回 日 時：平成28年2月24日（水）15時から16時まで

場 所：三重県合同ビル（津市）

テーマ：アレルギー物質及び宿泊者名簿の外国語表記

参加者：76名



第1回訪日外国人おもてなし研修



第2回訪日外国人おもてなし研修

(2) 心でつながるインバウンド対応接客研修

受講対象：県内各市町の観光部署及び観光協会・観光案内所の職員等（外国語案内ボランティア向けの接客研修と合同で実施）

テーマ：接客の重要性を理解し基本的なマナーを身に付けること

異文化を理解し外国人対応力を高めること



心でつながるインバウンド対応接客研修

日 時	場 所	参加者
平成28年4月15日（金）13:30～16:30	三重県総合文化センター	74名
平成28年4月16日（土）9:00～12:00	三重県伊勢庁舎	59名
平成28年4月16日（土）13:30～16:30		54名
平成28年4月17日（日）9:00～12:00	鈴鹿医療科学大学・白子キャンパス	61名
平成28年4月17日（日）13:30～16:30		53名

計301名（内281名は外国語案内ボランティア）